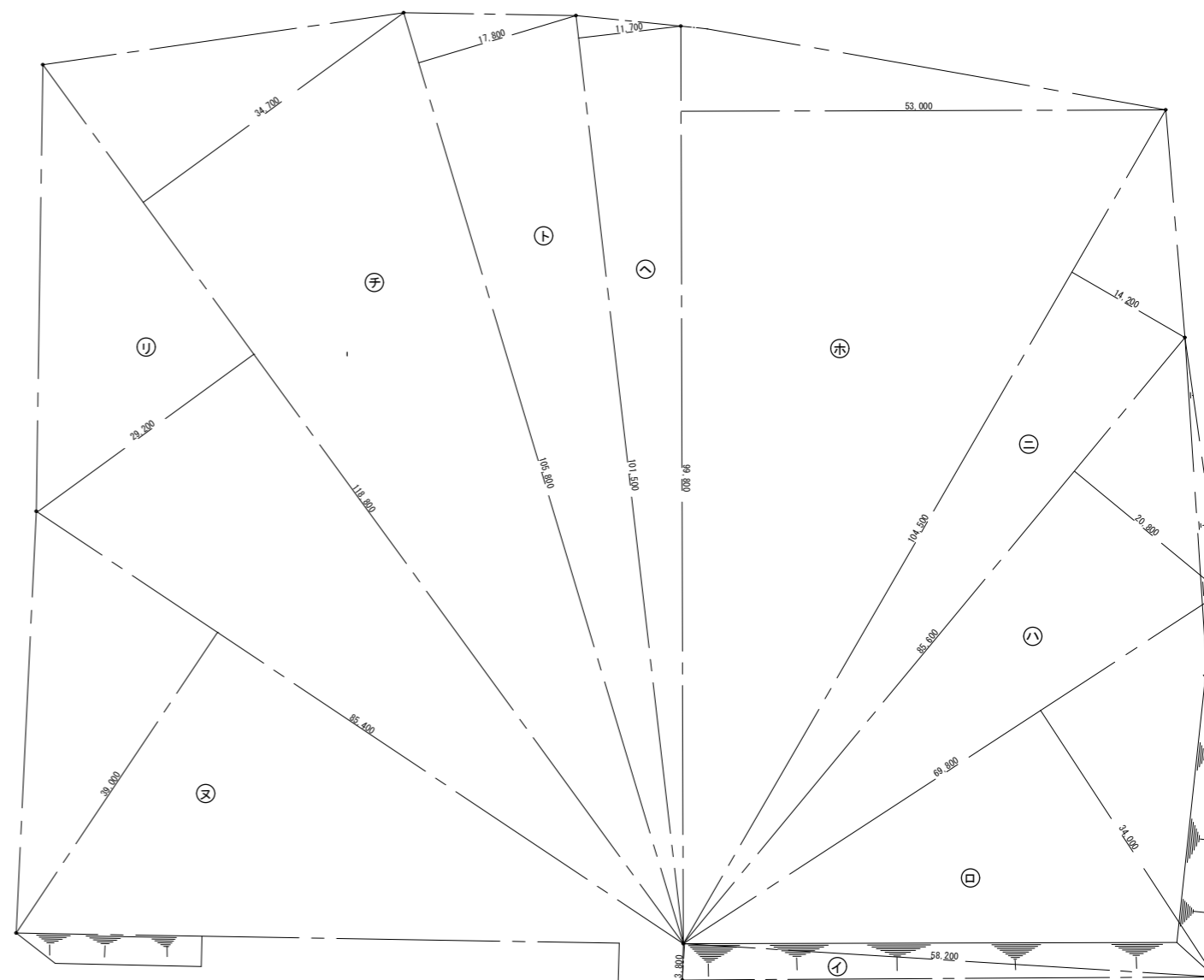
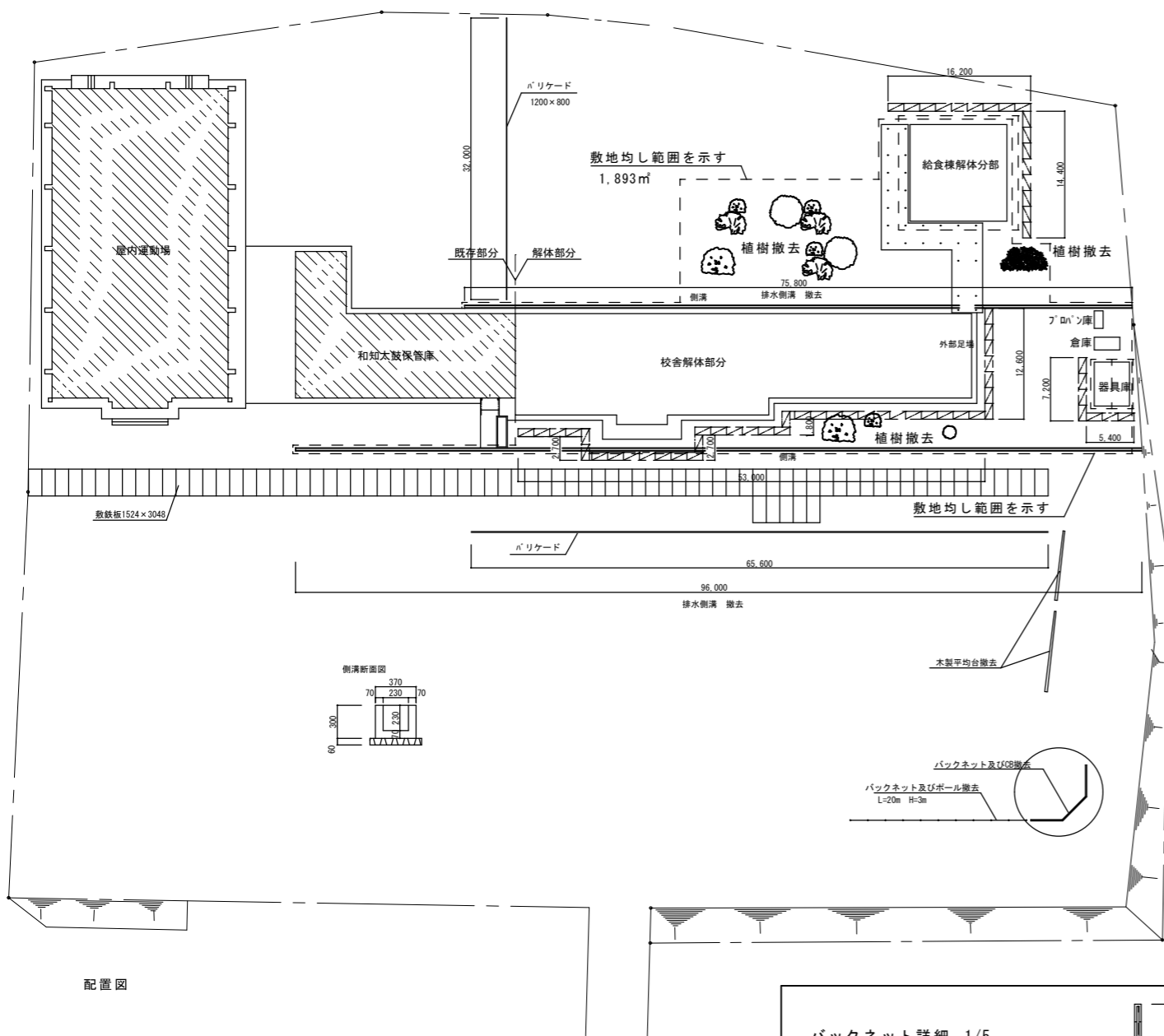
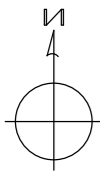
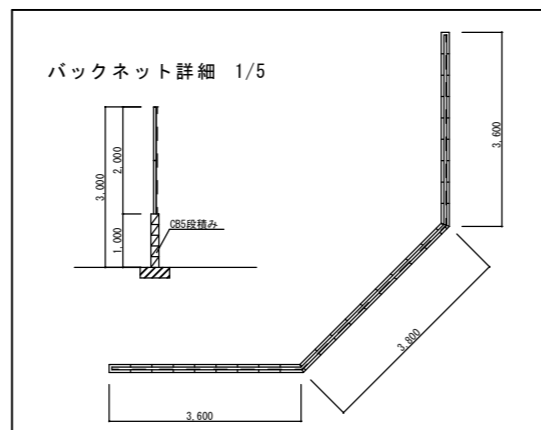


解体工事特記仕様書	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																								
<p>【1】工事概要</p> <p>1 工事名称 平成24年度 旧和知第二小学校解体工事</p> <p>2 工事場所 船井郡京丹波町 篠原 地内</p> <p>3 工事範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 建物解体除却工事 植木伐採撤去除根工事 撤去跡地整地工事 	1	① 適用基準	<p>※ 建築物解体工事共通仕様書 平成24年版 (監修：国土交通省)</p> <p>※ 公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 平成22年版 (監修：国土交通省)</p> <p>○ 建築工事標準詳細図 平成22年版 (監修：国土交通省)</p> <p>※ 土木工事共通仕様書（案） 平成22年4月 (監修：京都府)</p> <p>※ 土木工事施工管理基準 平成22年4月 (監修：京都府)</p> <p>※ 土木請負必携 平成22年4月 (監修：京都府)</p> <p>※ 公共建築改修工事標準仕様書 平成22年版 (監修：国土交通省)</p> <p>※ 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編） 平成22年版 (監修：国土交通省)</p> <p>※ 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編） 平成22年版 (監修：国土交通省)</p> <p><small>（注：監修欄「国土交通省」は国土交通省大臣官房庁営繕部を示す）</small></p> <p>※ 適用する ○ 適用しない</p> <p>受注時、変更時、完了時の各時点において、工事請負金額が500万円以上の工事について工事実績情報システム（CORINS）に基づき、「工事カルテ」を作成し、監督職員の確認を受けた後、契約締結後10日以内、変更事項の確定日から10日以内、工事解体検査後10日以内に（財）日本建築情報総合センター（以下JACICという）に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、フロッピーディスクにより提出しなければならない。また、日本建築情報センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを監督職員に提出しなければならない。</p> <p>（ただし、期間には、土曜日、日曜日、祝日等は含まない。）</p>	1	⑧ アスベスト成形板の処理 <small>（1. 2. 14）</small>	<p>処理を行うアスベスト成形板の仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●石綿波形式レート板</td> <td>6mm</td> <td>○石棉板</td> <td>2mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>処理を行う範囲</p> <p>※図示（撤去建物毎に種別を確認）</p> <p>○全ての室</p> <p>※（給食棟、プロパン庫、器具庫、倉庫、の屋根材）（給食棟の天井）</p> <p>施工調査</p> <p>※アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う調査結果は図面により記録し監督職員に提出すること。</p> <p>（1）アスベスト成型板使用部位の確認</p> <p>記載上の成形板及びその使用範囲以外についても監督職員と協議の上確認を行うこと。</p> <p>（2）アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認</p> <p>（3）アスベスト成形板使用数量の確認</p> <p>（4）施工範囲等の確認</p> <p>確認方法</p> <p>※整形板の製造年等の確認（確認が出来ない場合は分析による確認を行う。）</p> <p>○分析</p> <p>○X線解析法</p> <p>処理方法</p> <p>※「非飛散性アスベスト廃棄物の取り扱いに関する技術指針」に従いあらかじめ処理計画書を作成し、適切に解体処分等を行うこと。</p>	種類	厚さ (mm)	種類	厚さ (mm)	●石綿波形式レート板	6mm	○石棉板	2mm																
種類	厚さ (mm)	種類	厚さ (mm)																											
●石綿波形式レート板	6mm	○石棉板	2mm																											
<p>総 則 編</p>		③ 処理計画書等の提出 <small>（1. 2. 14）</small>	<p>※ 再生資源利用促進計画書、再生資源利用促進実施書を提出する。（CREDAS入力及び集計システムで作成し、FDにて提出すること。）</p> <p>※ 残土及び廃棄物処理計画書、残土及び廃棄物処理報告書を提出する。</p>																											
<p>【2】適用範囲 <small>（1. 1. 5）</small></p> <p>質問回答書、本特記仕様書、設計図、解体工事仕様書、標準仕様書、改修工事仕様書に示す範囲とする。全ての設計図書は、相互に補完するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。上記の解体工事共通仕様書とは、国土交通省大臣官房庁営繕部監修建築物解体工事共通仕様書（平成24年版）をいう。（以下、これを「解体共仕」という。）解体共仕に記載されていない事項は、公共建築工事標準仕様書（平成22年版）（以下、これを「標仕」という。）による。</p> <p>本工事の施工にあたって、土木工事にあつては、「土木工事共通仕様書（案）平成22年4月監修：京都府」の適用を受けるものとする。</p> <p>本書に特に記載のない事項にあつても、すべて、「解体共仕」の適用を受けるものとする。</p>		④ 発生材の処理等 <small>（1. 2. 14）</small>	<p>● 引き渡しを要するもの（現場説明）</p> <p>○ 現場において再利用を図るもの、再資源化を図るもの。（）</p> <p>● 指定副産物の搬出</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>コンクリート類</th> <th>アスファルト類</th> <th>木材類</th> <th>鉄類</th> <th>アスベスト成形板</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定処分地</td> <td>京丹波町</td> <td></td> <td>福知山市</td> <td>福知山市</td> <td>京丹波町</td> </tr> <tr> <td>処分業者</td> <td>共栄建設</td> <td></td> <td>近畿環境開発</td> <td>京都環境保全センター</td> <td>京都環境保全センター</td> </tr> <tr> <td>自由処分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※自由処分（最寄りの再資源化施設へ搬出すること。）</p> <p>● 指定副産物以外の搬出</p> <p>※構外搬出適切処理</p> <p>○ 特別管理産業廃棄物の処理（）</p> <p>※産業廃棄物管理票（マニフェスト）制度により、適正な処理を行うこと。</p> <p>※産業廃棄物の処理を委託する場合は、運搬と処分についてそれぞれの許可業者と処理委託料を記載した「処理委託契約書」により委託契約すること。</p>	種類	コンクリート類	アスファルト類	木材類	鉄類	アスベスト成形板	指定処分地	京丹波町		福知山市	福知山市	京丹波町	処分業者	共栄建設		近畿環境開発	京都環境保全センター	京都環境保全センター	自由処分							⑨ 交通整理員 ⑩ 建設工事保険 ⑪ 現場代理人 <small>（1. 2. 3）</small> 12 施工体制台帳等の作成・提出 <small>（1. 2. 12）</small>	<p>※交通整理員B 55人</p> <p>※工事に先立ち、建設工事保険に加入すること。</p> <p>※本工事の施工にあつては、請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、請負者と直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任しなければならぬ。</p> <p>※請負者は、請負金額3千万円以上の（建築一式工事4千5百万円以上）の工事について、施工体制台帳（下請契約書等添付）及び施工体系図を作成し、監督職員に提出しなければならない。</p> <p>※施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲される。</p> <p>1) 工事の着手に先立ち、実施工程表を作成し、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>2) 契約書の規定に基づく条件変更等により、実施工程表を変更する必要性が生じた場合は、施工等に支障がないよう実施工程表を遅滞なく変更し、当該部分の施工に先立ち、監督員の承諾を受ける。</p> <p>3) 2)によるほか、実施工程表の内容を変更する必要性が生じた場合は監督職員に報告するとともに、施工等に支障が生じないよう適切な措置を講じる。</p> <p>4) 監督員の指示を受けた場合は、実施工程表の補正として、週間又は月間工程表、工事別工程表等を作成し、監督員に提出する。</p>
種類	コンクリート類	アスファルト類	木材類	鉄類	アスベスト成形板																									
指定処分地	京丹波町		福知山市	福知山市	京丹波町																									
処分業者	共栄建設		近畿環境開発	京都環境保全センター	京都環境保全センター																									
自由処分																														
<p>【3】関係法令等の遵守</p> <p>工事の施工にあつては、工事請負契約書・建築基準法・建設業法・労働基準法・労働安全衛生法・廃棄物の処理及び清掃に関する法律・建設リサイクル法・石綿障害予防規則・大気汚染法・建設副産物適正処理推進要綱・建設工事公衆災害防止対策要綱等の関係法令を守り行う。</p>		⑤ 産業廃棄物運搬車両の表示等	<p>※自己（社）運搬の場合</p> <p>収集運搬車両の両側面に鮮明に識別しやすい文字の色で次の内容の表示をおこなうこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「産業廃棄物運搬車」の文字（同 140ポイント以上（5cm以上）） 事業者の氏名又は名称（同 90ポイント以上（3cm以上）） <p>収集運搬車両は、次の内容が記載された書面を備え付けること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「氏名又は名称及び住所」、「運搬する産業廃棄物の種類及び数量」、「運搬する産業廃棄物の積載日」「積載した事業者の名称、所在地及び連絡先」「運搬先の事業場の名称、所在地及び連絡先」 <p>※許可業者に運搬を委託する場合</p> <p>収集運搬車両の両側面に鮮明に識別しやすい文字の色で次の内容の表示がされている業者に委託すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「産業廃棄物運搬車」の文字（JISZ8305 140ポイント以上（5cm以上）） 許可業者の氏名又は名称（同 90ポイント以上（3cm以上）） 統一許可番号（下6桁）（同 90ポイント以上（3cm以上）） <p>収集運搬車両に次の書面が備え付けられている業者に委託すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物収集運搬業の許可証の写し 産業廃棄物管理票（マニフェスト） 		⑬ 施工図等の取扱い ⑭ 実施工程表 <small>（1. 2. 1）</small>	<p>1) 工事の着手に先立ち、建設工事保険に加入すること。</p> <p>※本工事の施工にあつては、請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、請負者と直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任しなければならぬ。</p> <p>※請負者は、請負金額3千万円以上の（建築一式工事4千5百万円以上）の工事について、施工体制台帳（下請契約書等添付）及び施工体系図を作成し、監督職員に提出しなければならない。</p> <p>※施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲される。</p> <p>1) 工事の着手に先立ち、実施工程表を作成し、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>2) 契約書の規定に基づく条件変更等により、実施工程表を変更する必要性が生じた場合は、施工等に支障がないよう実施工程表を遅滞なく変更し、当該部分の施工に先立ち、監督員の承諾を受ける。</p> <p>3) 2)によるほか、実施工程表の内容を変更する必要性が生じた場合は監督職員に報告するとともに、施工等に支障が生じないよう適切な措置を講じる。</p> <p>4) 監督員の指示を受けた場合は、実施工程表の補正として、週間又は月間工程表、工事別工程表等を作成し、監督員に提出する。</p>																								
<p>【4】工事区分 <small>（1. 1. 3）</small></p> <p>設計図書による別契約の施工上密接に関連する工事との取り合い部分が発生する場合は、十分打合わせの上解体を行うこと。</p>		⑥ 産業廃棄物税	<p>平成17年4月1日より「京都府産業廃棄物税条例」に基づき導入される産業廃棄物税（以下「産廃税」という。）は、京都府内の最終処分施設に搬入される産業廃棄物について課税されるものである。また、中間処理施設に搬入された産業廃棄物においても、リサイクル後の処理残滓等が最終処分場に搬入される場合は、最終処分場に搬入される量に対して課税される。なお、本工事においても、産廃税相当額を見込んでいる。</p>		⑮ 施工計画書 <small>（1. 2. 2）</small>	<p>1) 工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し、監督職員に提出する。</p> <p>2) 品質計画、一工程の施工の確認を行う段階及び施工の具体的な計画を定めた工種別の施工計画書を、当該工事の施工に先立ち作成し、監督職員に提出する。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。</p> <p>3) 2)の施工計画書のうち、品質計画については、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>4) 施工計画書の内容を変更する必要性が生じた場合は、監督職員に報告するとともに、施工等に支障が生じないよう適切な措置を講ずる。</p>																								
<p>【5】工事仕様</p> <p>1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「標仕」のほか別記の適用基準による。</p> <p>2. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。</p> <p>3. 特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。※印と●印の付いた場合は共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のもののみ適用する。</p> <p>4. 項目及び特記事項に記載の（ ）内表示番号は「解体共仕」の当該項目、当該図又は当該表を示し、[]内表示番号は[改修標仕]の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p>		⑦ 技能士 <small>（1. 2. 4）</small>	<p>仮設工事 ●とび工事</p>		⑯ 施工中の安全確保及び環境保全 <small>（1. 3. 6）</small> <small>（1. 3. 9）</small>	<p>1) 建築基準法、建築工事に係る資材の再資源化などに関する法律、労働安全衛生法、環境基準法、騒音規制法振動規正法、大気汚染防止法その他関連法令等によるほか、建設工事公衆災害防止対策要領及び建設副産物適正処理推進要綱に従い、工事の施工に伴う災害の防止及び環境の保全に努める。</p> <p>また、工事に伴い発生する廃棄物は選別等を行い、リサイクル等再資源化に努める。</p> <p>2) 施工中の安全確保に関しては、建築工事安全施工技術指針を参考に、常に工事の安全に留意し、現場管理を行い、災害及び事故の防止に努める。</p> <p>3) 工事現場の安全衛生に関する管理は現場代理人が責任者となり、建築基準法、労働安全衛生法、その他関連法令等に従ってこれを行う。</p> <p>4) 気象予報又は警報等について常に注意を払い、災害の予防に努める。</p> <p>5) 請負者の責任費用負担で、騒音、振動、粉塵、臭気及び大気汚染又は、水質汚濁等の影響が生じないようにすること。また、万が一発生した際は、請負者の責任費用負担で対処すること。</p> <p>※ 建設業法第26条に定める主任技術者又は監理技術者は、その資格を証明する資料を監督職員に提出して承諾を受けること。（指定建築業監理技術者資格証明書等）</p> <p>※ 監督職員が指示した事項又は協議した事項について記録し、監督職員に提出する。また、監督職員が指示する工事写真、見本品、試験成績書等其他必要な資料は整備して提出する。</p> <p>※ 解体分の残地部分を含めた配置図及び地盤の縦横断面図を一部提出すること。</p> <p>※ 月報は毎月20日までに、同月25日までに提出する。</p> <p>※ 日報は監督職員の指示による。週報は毎週（月）曜日に提出する。</p>																								

<p>訂正</p>	<p>Kazu 一級建築士事務所</p> <p>前田和成 （一級建築士登録番号 第158503号）</p>	<p>承諾</p> <p>設計</p> <p>担当</p> <p>製図</p> <p>前田</p>	<p>縮尺</p> <p>製作用日</p>	<p>工事名称</p> <p>平成24年度 町有施設解体工事</p> <p>図面名称</p> <p>解体工事特記仕様書 NO. 1</p>	<p>図面番号</p> <p>1</p>
-----------	--	---	-----------------------	---	----------------------



- ㉠ 58,200 × 3,800 = 221,160
 - ㉡ 69,800 × 34,000 = 2,373,200
 - ㉢ 85,600 × 20,800 = 1,780,480
 - ㉣ 104,500 × 14,200 = 1,483,900
 - ㉤ 99,800 × 53,000 = 5,289,400
 - ㉥ 101,500 × 11,700 = 1,187,550
 - ㉦ 105,800 × 17,800 = 1,883,240
 - ㉧ 118,800 × 34,700 = 4,122,360
 - ㉨ 118,800 × 29,200 = 3,468,960
 - ㉩ 85,400 × 39,000 = 3,330,600
- 合計 25,140,850 × 1/2 = 12,570,425㎡



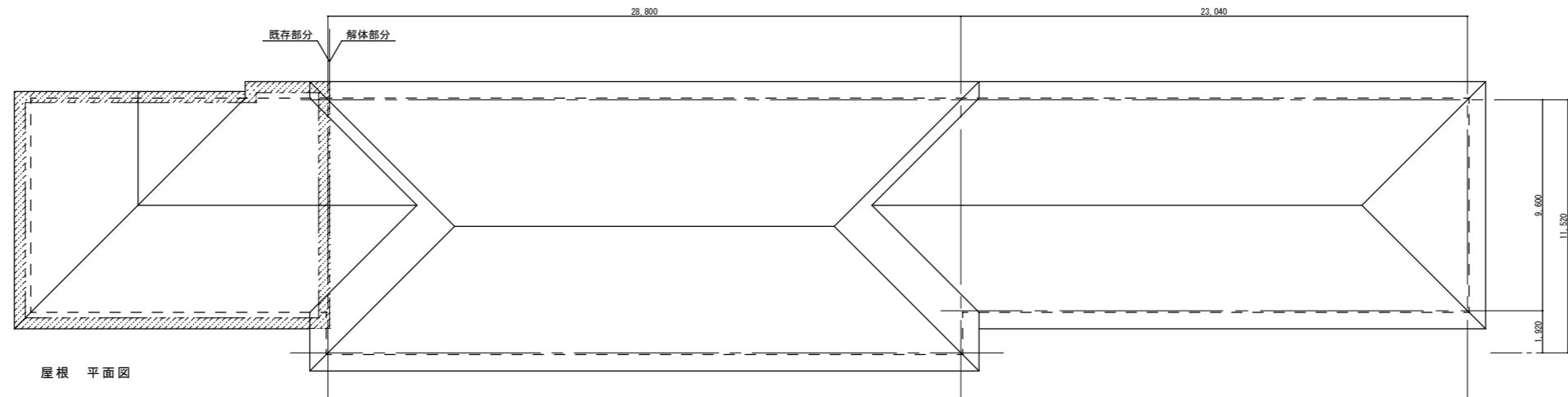
訂正									
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

Kazu 一級建築士事務所
前田和成 (一級建築士登録番号 第158503号)

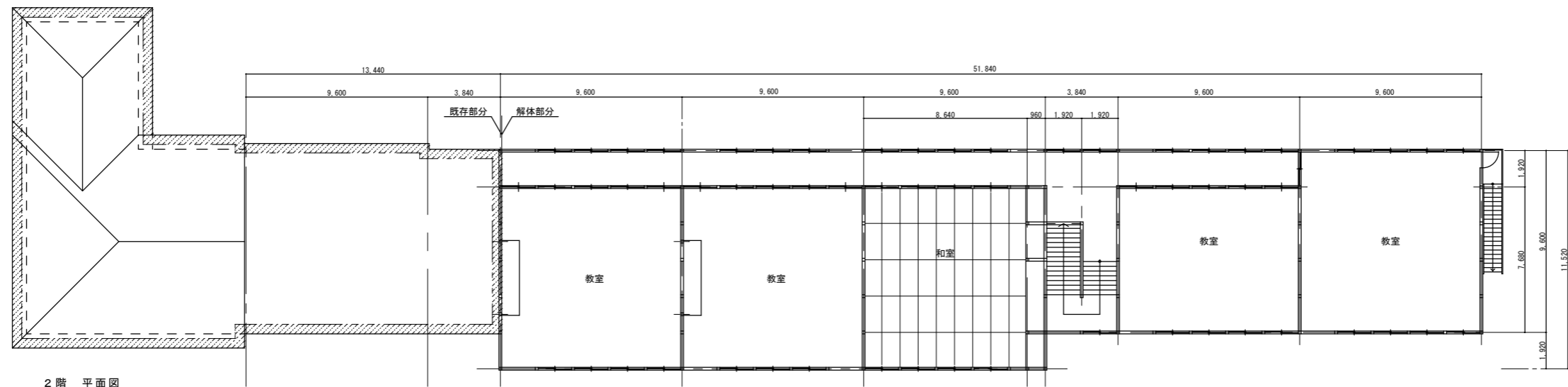
承諾	設計	担当	製図	縮尺	1/500	1/5
			前田	製作日	H24・1・30	

工事名称	平成24年度町有施設解体工事	
図面名称	(教室棟)	配置図 敷地面積求積図

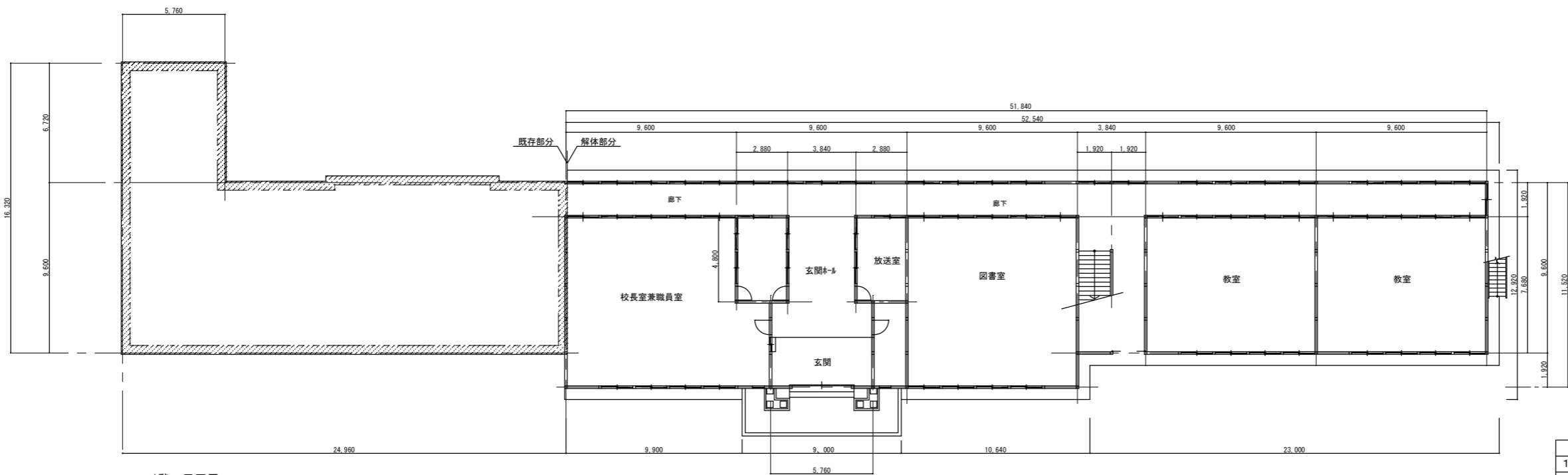
図面番号	4
------	---



屋根 平面図



2階 平面図



1階 平面図

面積表

	解体面積	既存面積	合計
1階 床面積	552.96㎡	278.32㎡	831.28㎡
2階 床面積	552.96㎡	129.02㎡	681.98㎡
延べ 床面積	1,105.92㎡	407.34㎡	1,513.26㎡

訂正 _____

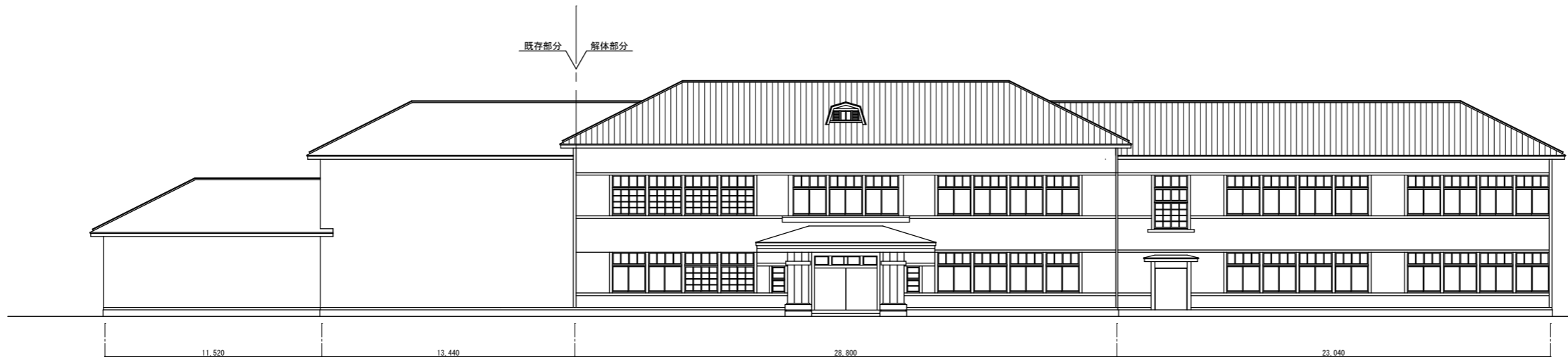
Kazu 一級建築士事務所
前田和成 (一級建築士登録番号 第158503号)

承諾 設計 担当 製図
前田

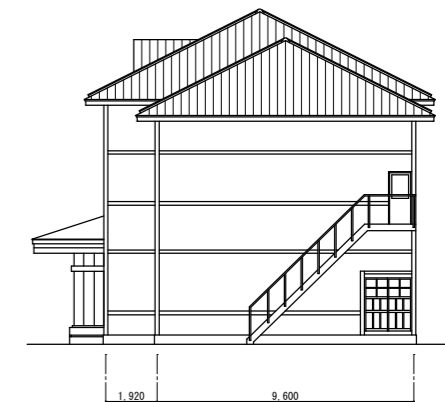
縮尺 1/200
製作日 H24・1・30

工事名称 平成24年度町有施設解体工事
図面名称 (教室棟) 平面図

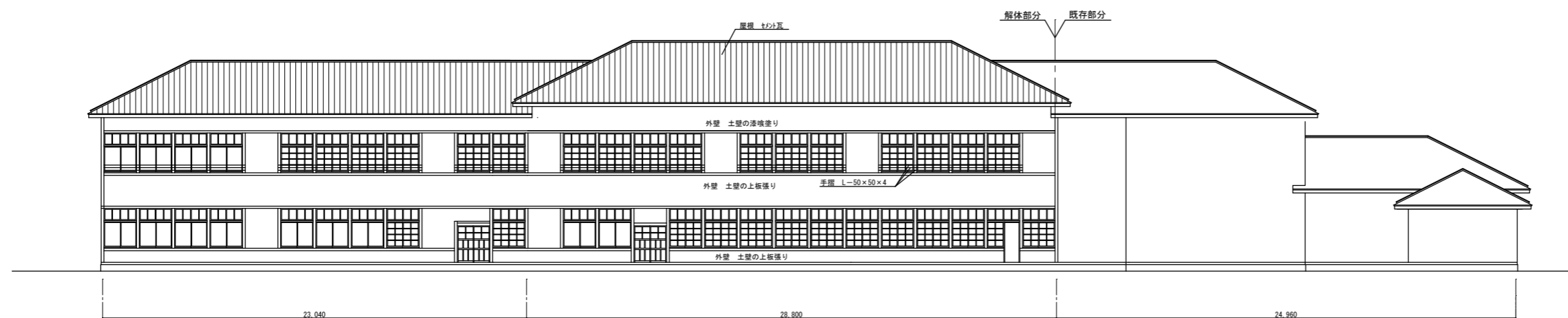
図面番号 5



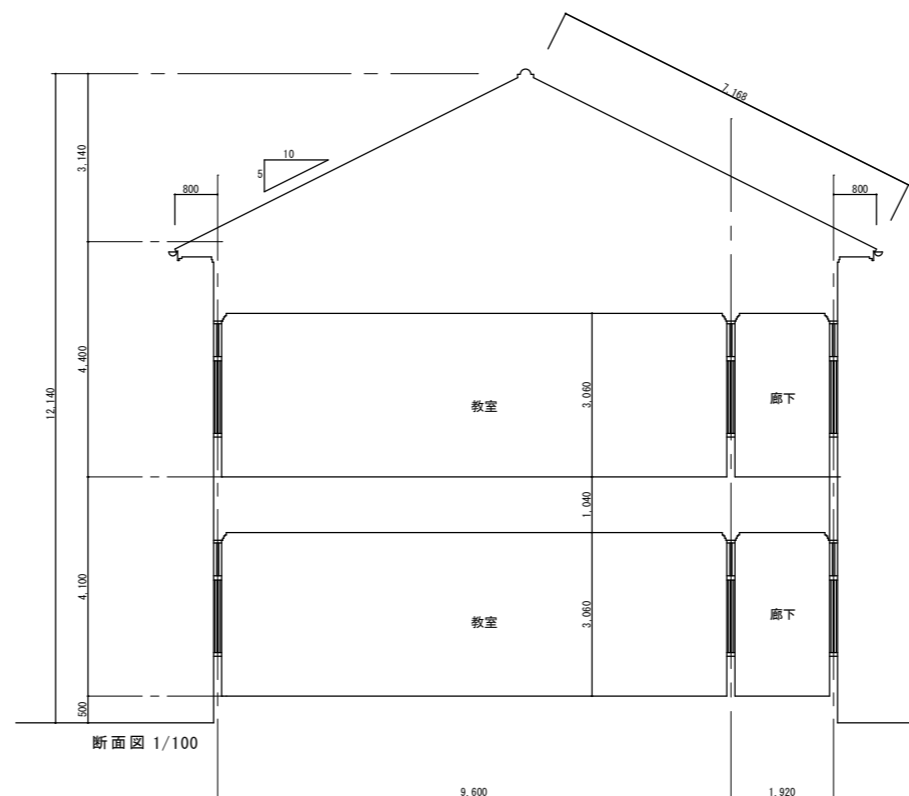
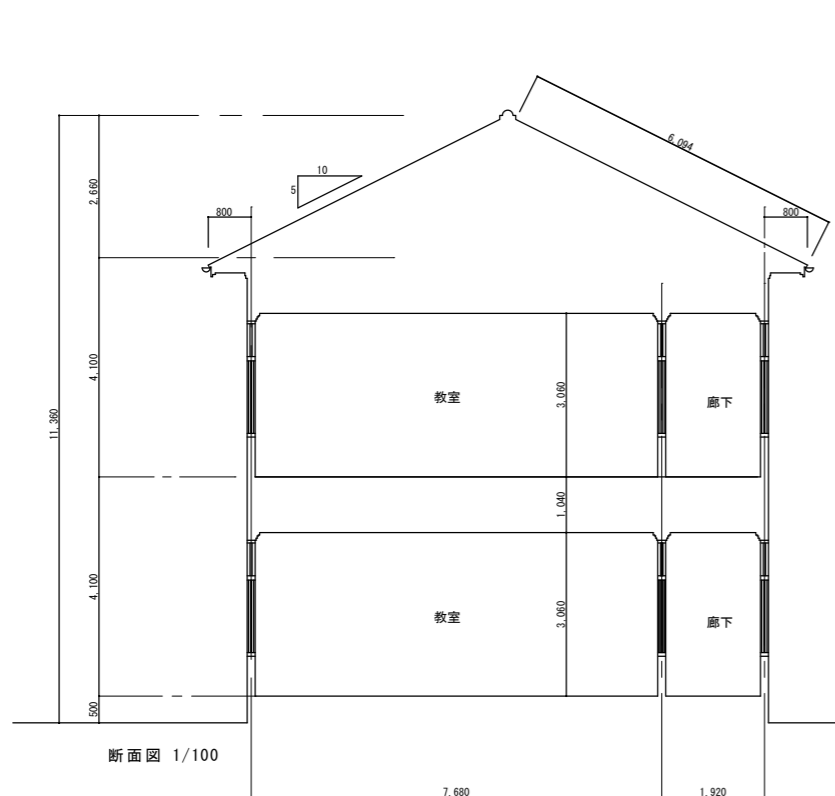
南 立面図 1/200



西 立面図 1/200



北 立面図 1/200



外部仕上表

屋根	着色セメント瓦	7スファルト-フィンク'	野地板 t=15
軒裏	杉板	ペンキ塗り	
外壁	よろい下見板	上部漆喰塗り	
巾木	豆砂利洗い落とし		
柱	鋼管	種100φ	

内部部仕上表

教室		和室	
床	板張り t=20	床	たたみ
巾木	木製 H=150	巾木	木製 H=150
壁	板張り t=15	壁	板張り t=15
天井	竿縁天井 ペニヤ板 t=6	天井	竿縁天井 ペニヤ板 t=6
備考		備考	

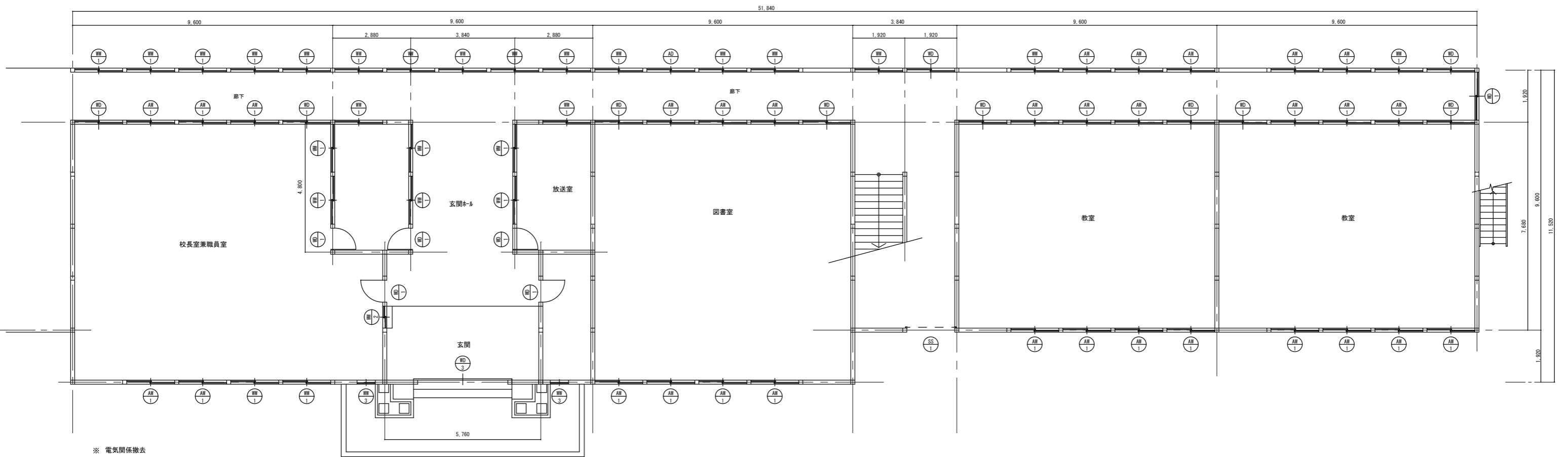
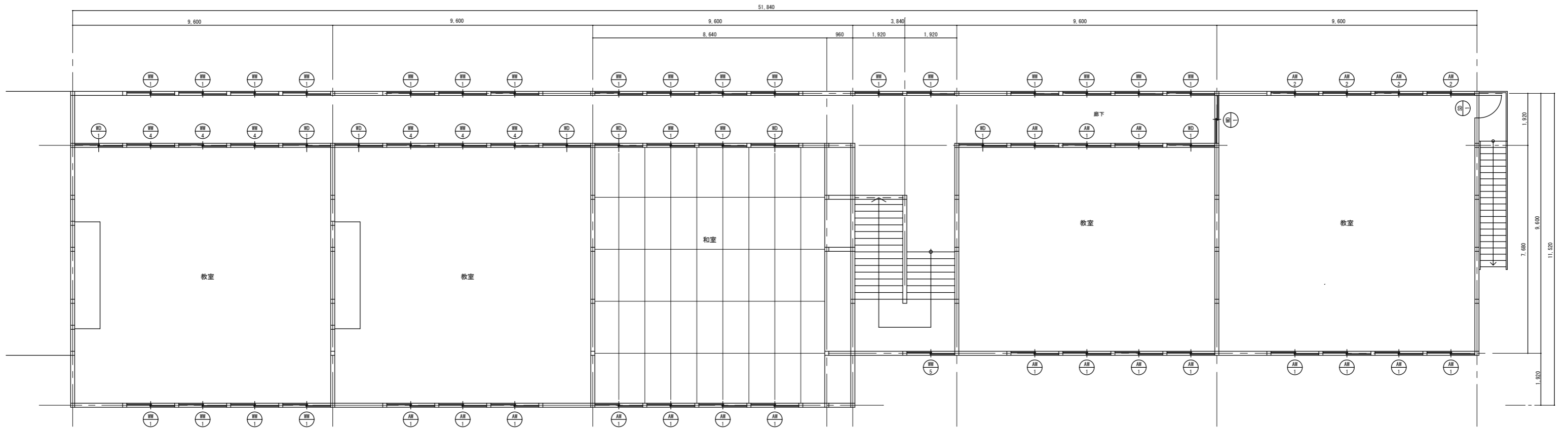
訂正

Kazu 一級建築士事務所
前田和成 (一級建築士登録番号 第158503号)

承諾 設計 担当 製図 縮尺
前田 製作日 H24・1・30

工事名称 平成24年度町有施設解体工事
図面名称 (教室棟) 立面図 断面図

図面番号



※ 電気関係撤去
 1階 照明器具 40w×1 26個
 2階 照明器具 40w×1 15個
 電気配線

訂正

Kazu 一級建築士事務所
 前田和成 (一級建築士登録番号 第158503号)

承諾 設計 担当 製図
 前田

縮尺 1/100
 製作日 H24・1・30

工事名称 平成24年度町有施設解体工事
 図面名称 (教室棟) 建具 配置図

図面番号

窓 図	WW-1	4 3 枚	3.66㎡	157.55㎡	AW-1	4 9 枚	3.66㎡	179.34㎡	WD-1	1 9 枚	3.49㎡	66.31㎡	WW-1	5 枚	1.57㎡	157.55㎡
					7㉿ミ 115.04㎡ 木 61.14㎡											
寸法	W=1,770	H=2,070			W=1,770	H=2,070	7㉿ミサツ (W=1,720 H=1,365)		W=1,770	H=1,970			W=800	H=1,970		
材質	木製		ガラス t = 4			木製・7㉿ミ		ガラス t = 4	木製		ガラス t = 4			木製		ガラス t = 4
備考																
窓 図	WW-2	1 枚	0.17㎡	0.17㎡	WW-3	2 枚	0.86㎡	1.72㎡	AD-1	1 枚	2.99㎡	2.99㎡	WW-4	6 枚	3.66㎡	21.96㎡
	寸法	W=546	H=313			W=640	H=1,345			W=1,710	H=1,750			W=1,770	H=2,070	
材質	木製		ガラス t = 4			木製		ガラス t = 4	7㉿ミ		ガラス t = 4			木製		ガラス t = 4
備考																
窓 図	AW-2	4 枚	3.61㎡	14.44㎡	SD-1	1	1.49㎡	1.49㎡	WW-5	1	4.87㎡	4.87㎡	WD-3	1 枚	6.43㎡	6.43㎡
	寸法	W=1,745	H=2,070	7㉿ミサツ (W=1,720 H=1,365)		W=820	H=1,815	スチールサツ		W=1,770	H=2,750			W=2,700	H=2,380	
材質	7㉿ミ		ガラス t = 4			スチール		ガラス t = 4	木製		ガラス t = 4			木製		ガラス t = 4
備考																

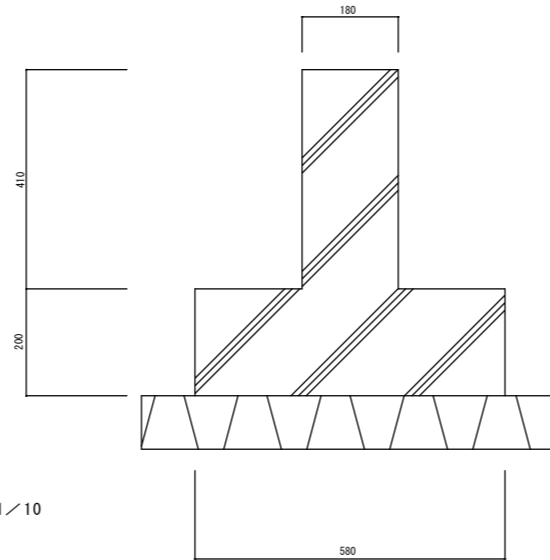
訂正	_____

Kazu 一級建築士事務所
前田和成 (一級建築士登録番号 第158503号)

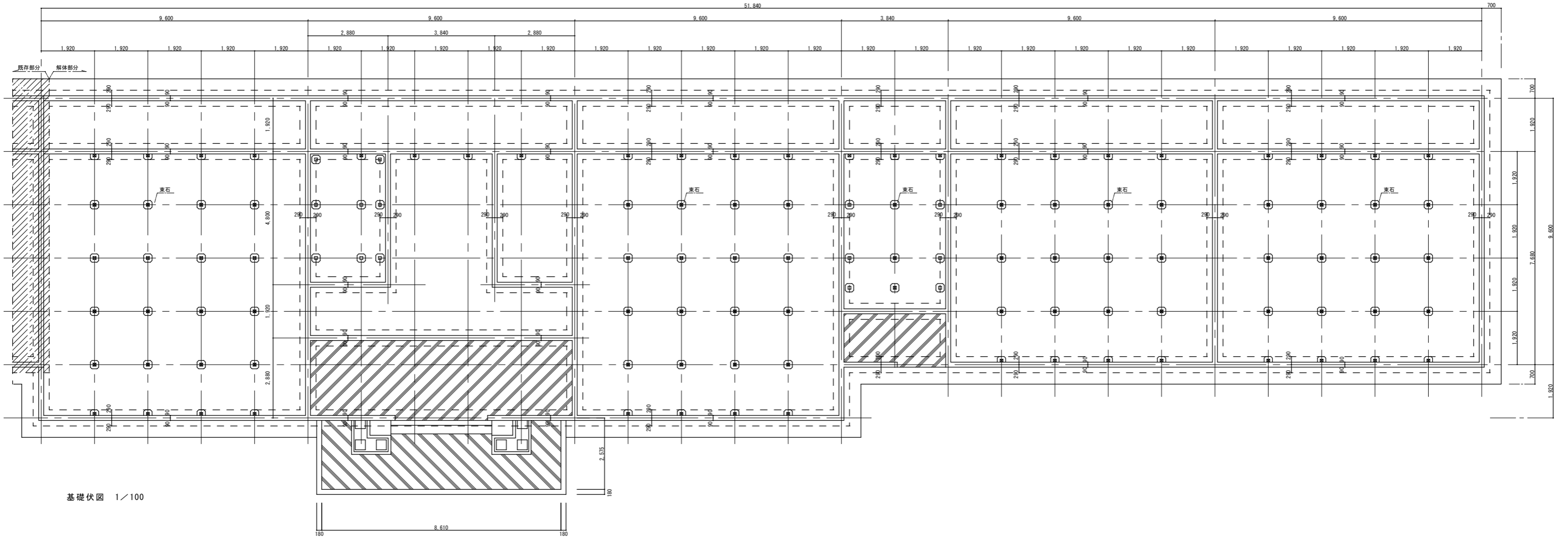
承諾	設計	担当	製図	縮尺
			前田	製作日 H24・1・30

工事名称	平成24年度町有施設解体工事
図面名称	(教室棟) 建具リスト

図面番号
8



基礎断面詳細図 1/10



基礎伏図 1/100

訂正			

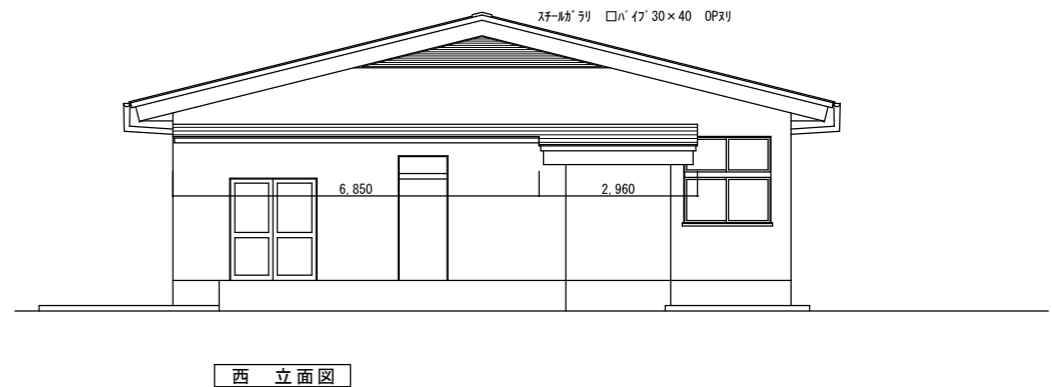
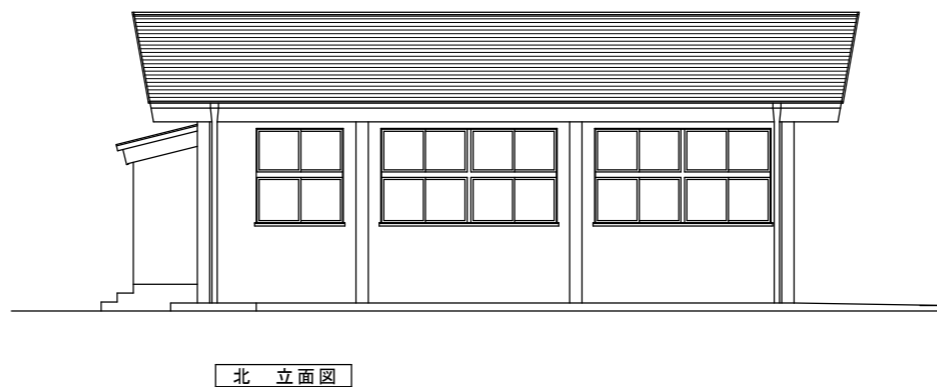
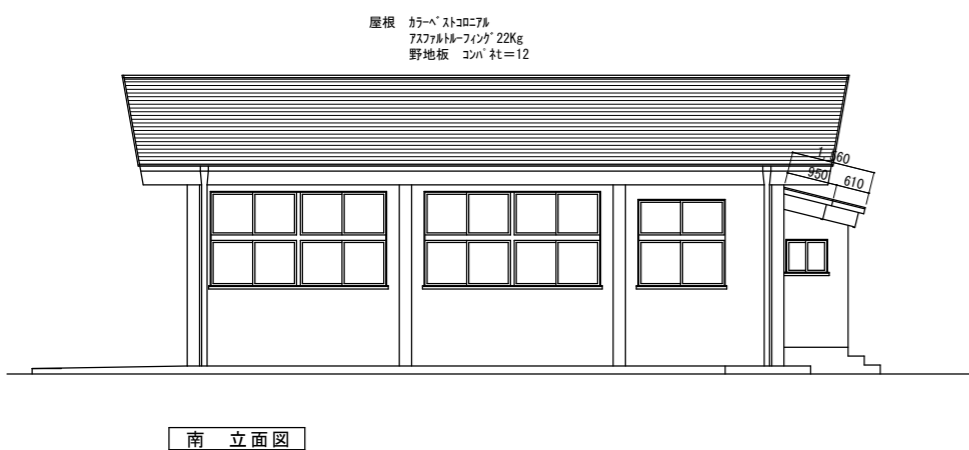
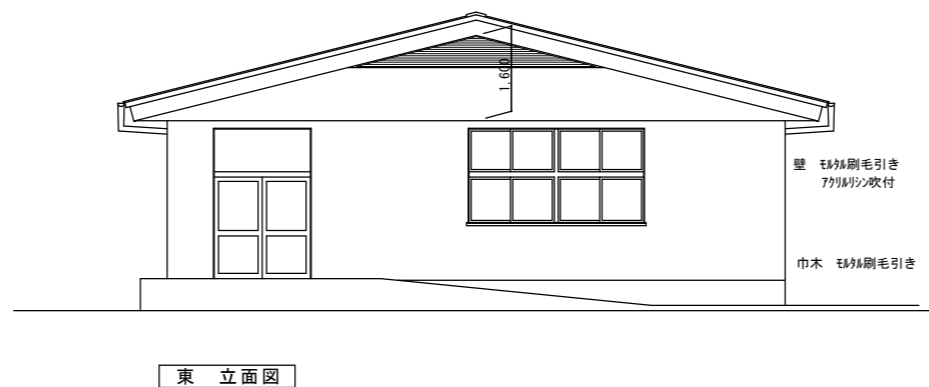
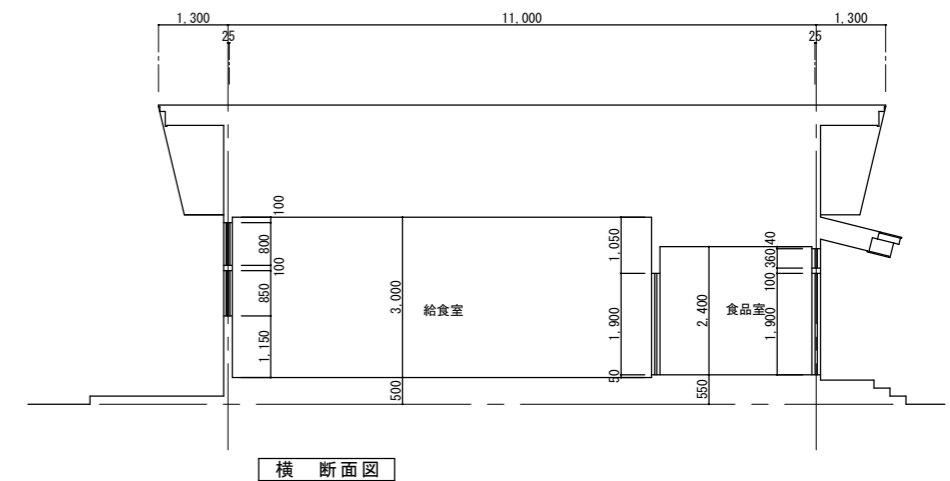
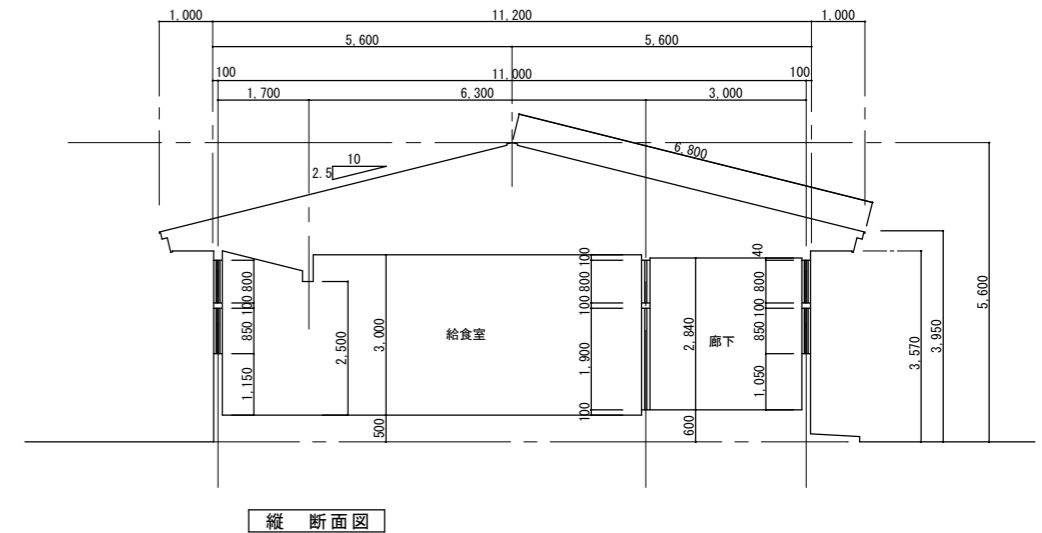
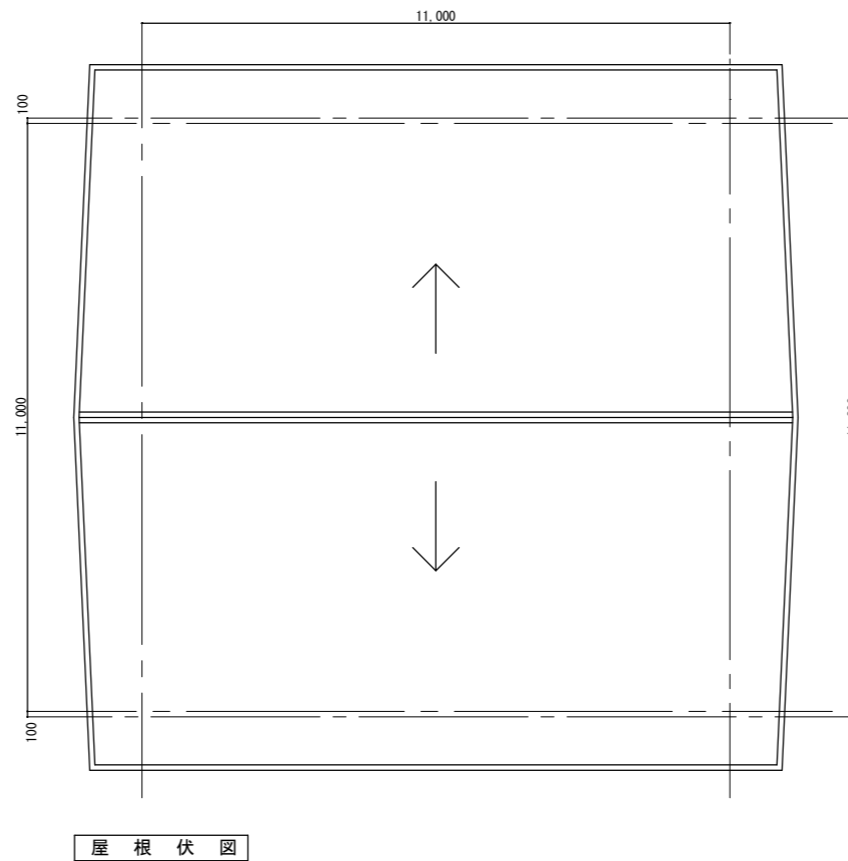
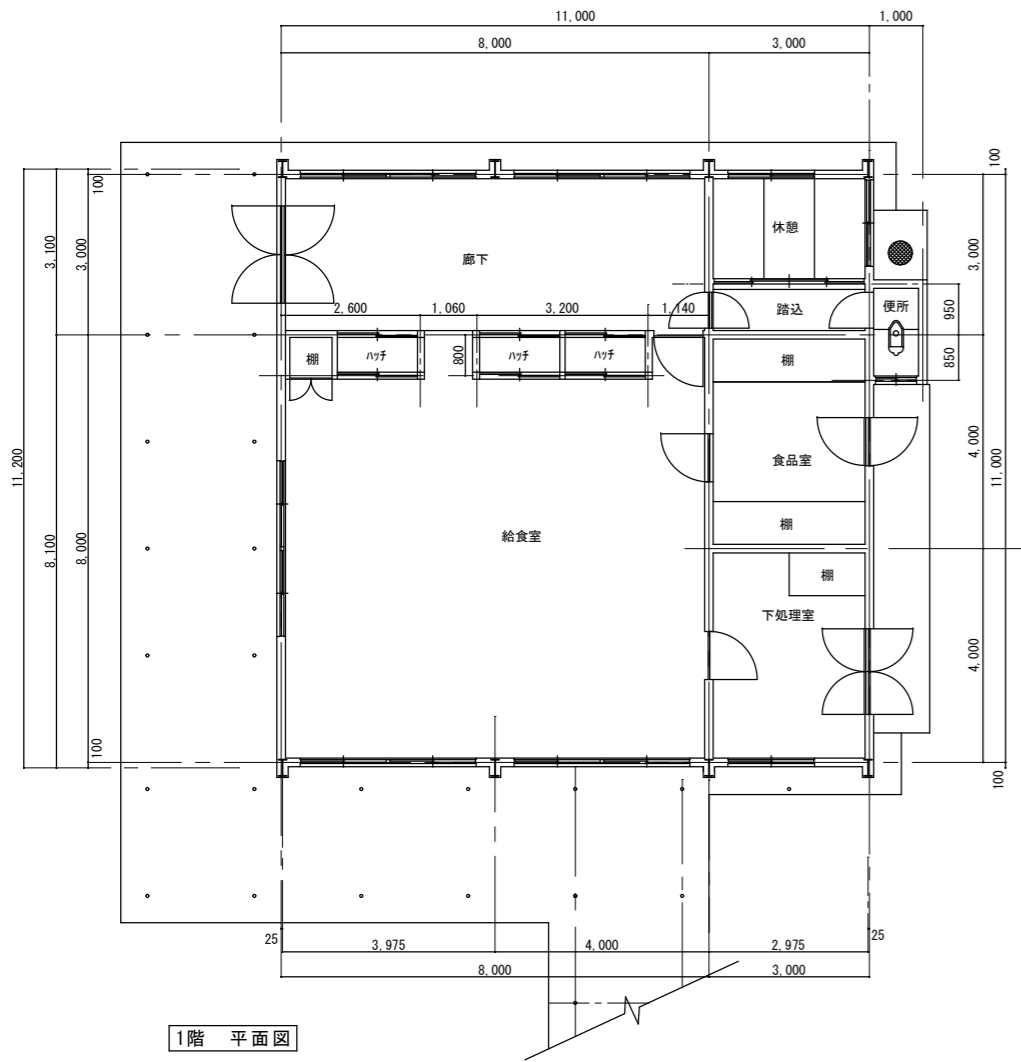
Kazu 一級建築士事務所
前田和成 (一級建築士登録番号 第158503号)

承諾	設計	担当	製図
			前田

縮尺	1/100	1/10
製作日	H24・1・30	

工事名称	平成24年度町有施設解体工事	
図面名称	(教室棟)	基礎伏図

図面番号	9
------	---



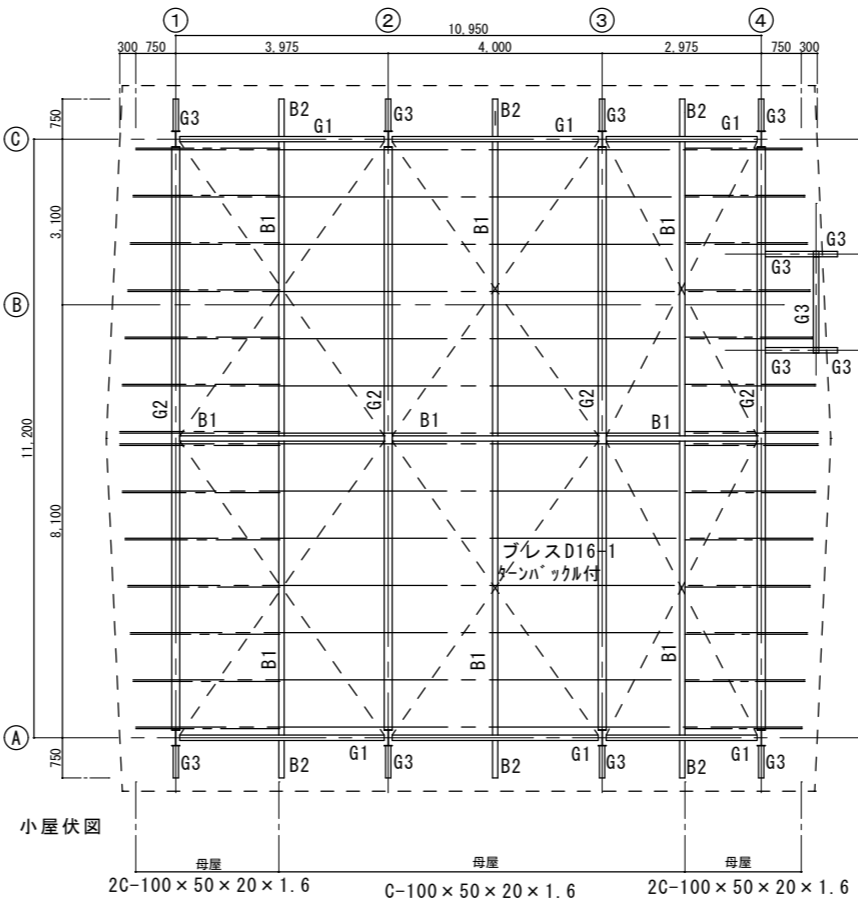
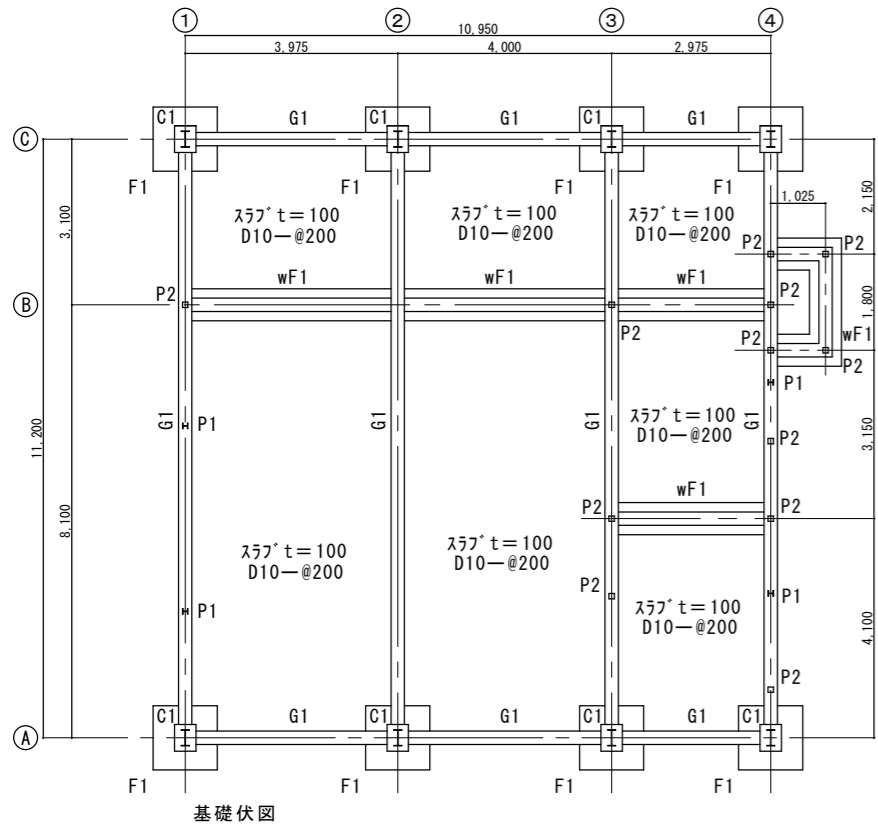
訂正			

Kazu 一級建築士事務所
前田和成 (一級建築士登録番号 第158503号)

承諾	設計	担当	製図	縮尺
			前田	1 : 100
				製作日 H24・1・30

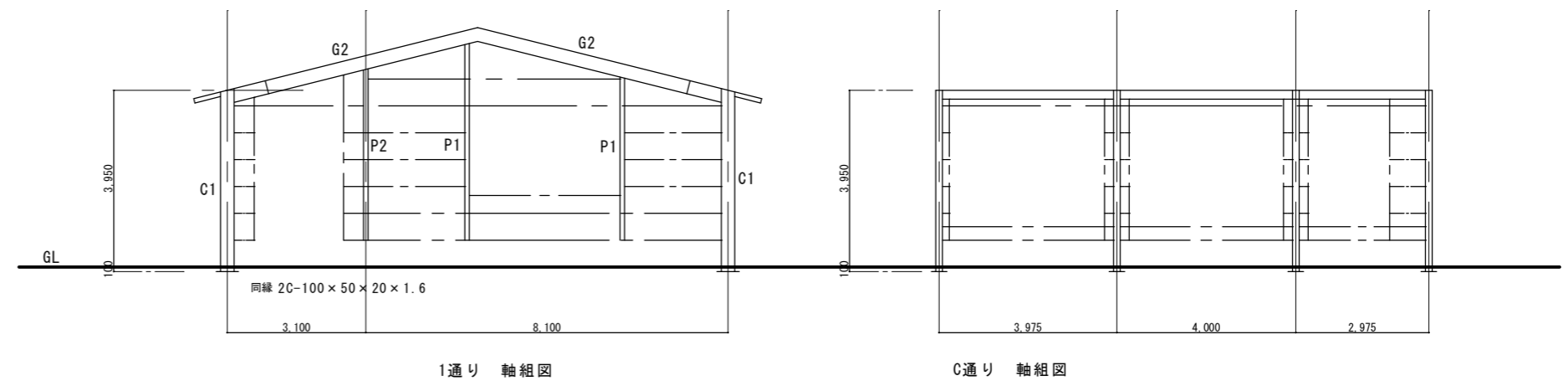
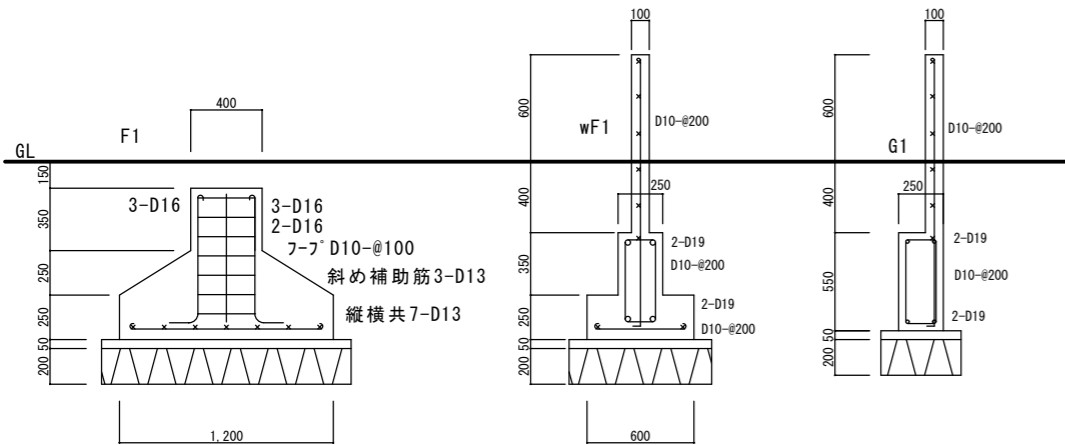
工事名称	平成24年度町有施設解体工事
図面名称	(給食棟) 平面図 立面図 断面図

図面番号
12



柱・梁リスト

柱	
C1	H-298×149×5.5×8 (2PL-9)
P1	H-100×100×5.5×8
P2	2C-100×50×20×1.6
梁	
G1	中央 H-200×100×5.5×8 端部 フラッシュPL-9×100 ウェブ PL-6×184
G2	H-298×149×5.5×8
G3	H-100×100×5.5×8
B1	H-200×100×5.5×8
B2	フラッシュ PL-9×100 ウェブ PL-6×184~82
Bv	2C-100×50×20×1.6

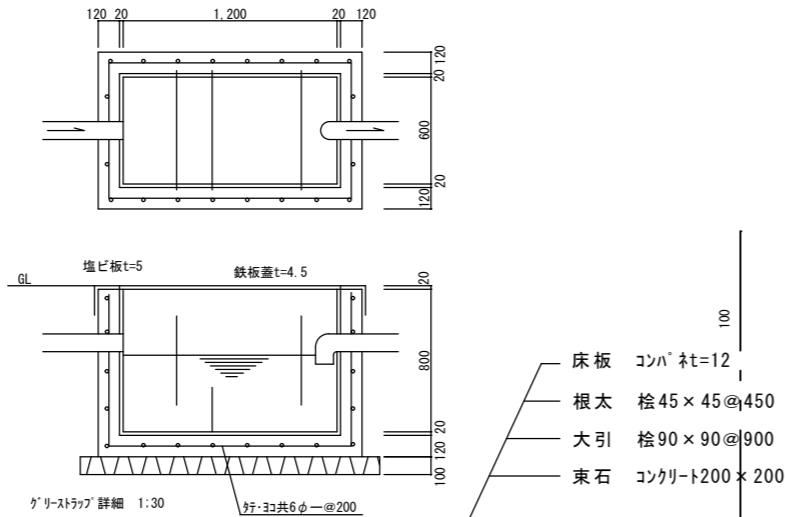
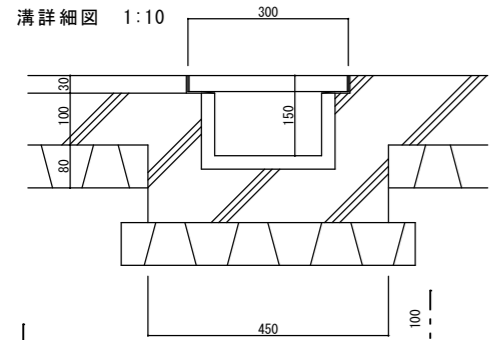


訂正	

Kazu 一級建築士事務所
前田和成 (一級建築士登録番号 第158503号)

承諾	設計	担当	製図	縮尺
			前田	1:100
				製作日 H24.1.30

工事名称	平成24年度町有施設解体工事
図面名称	(給食棟) 構造図

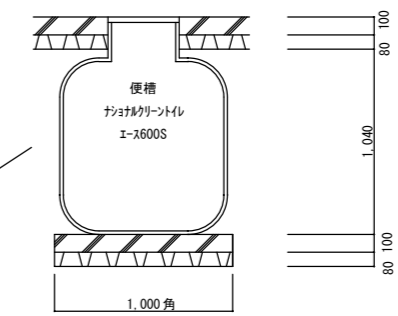


電気関係撤去
 照明器具
 40w×1 12個 40w×2 4個
 30w 1個

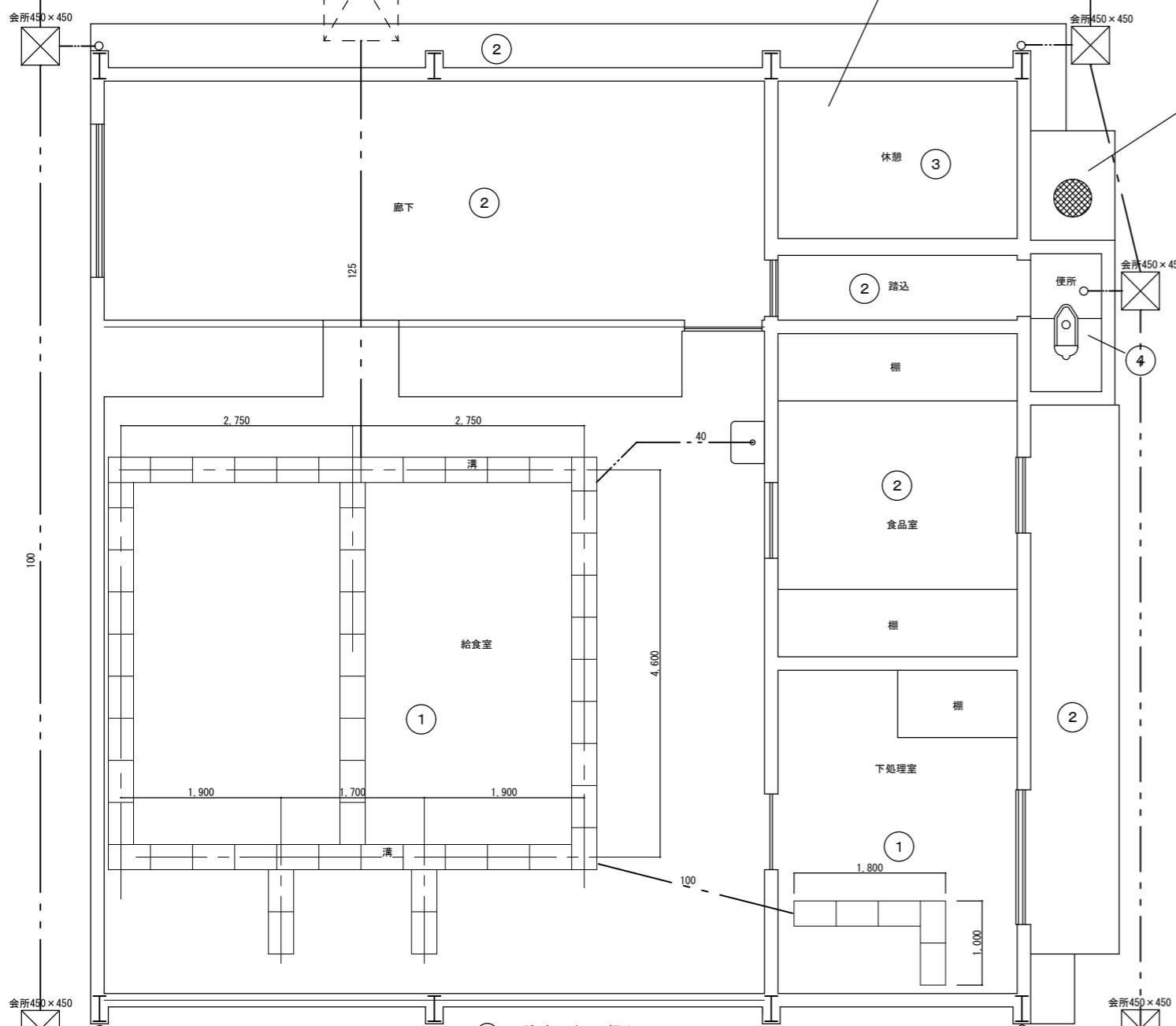
空調関係撤去
 ダクト 300×400 5m

厨房関係撤去
 回転式ガス煮炊釜 1160×740×825
 フライヤー 1075×575×800
 冷凍庫 1175×810×1905

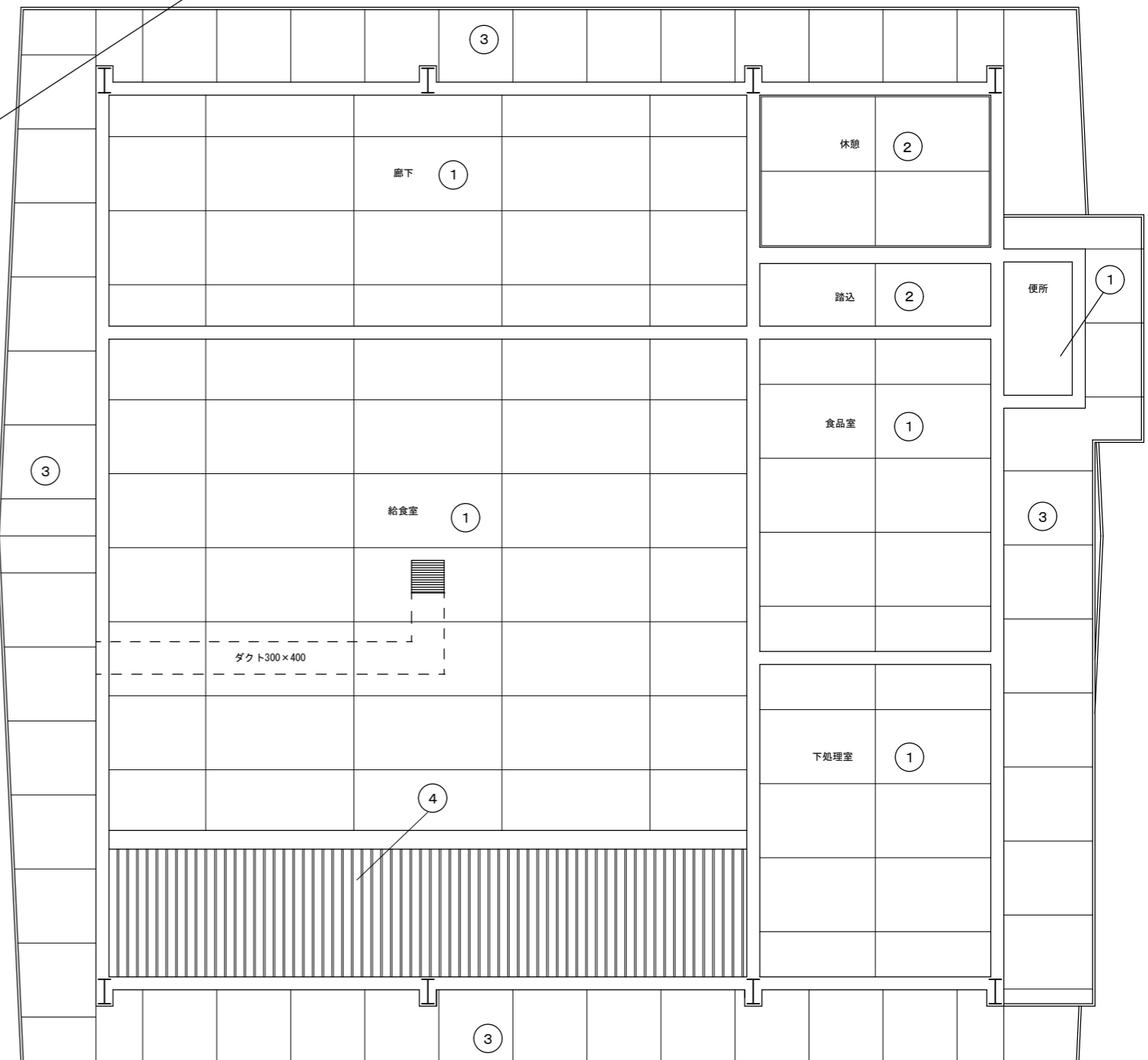
便槽詳細図 1:30



- ① フレキシブルホート 6×910×1820
- ② プラスターホート 9.5×910×1820
- ③ フレキシブルホート 6×910×1820
- ④ ヨトスバンドレル



- ① 防水モルタルコシ押え
- ② モルタルコシ押え
- ③ たたみ敷き t=50
- ④ 磁器モザイクタイル貼り 25角無釉



天井伏図

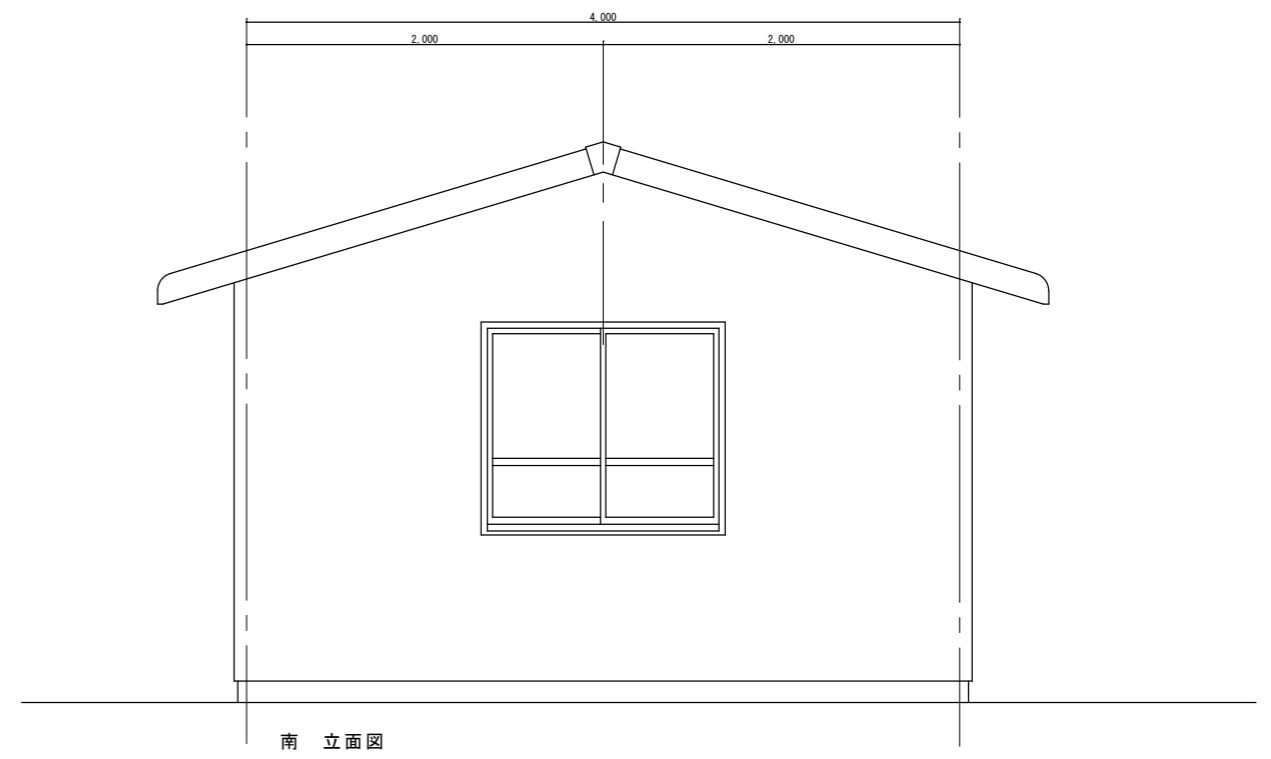
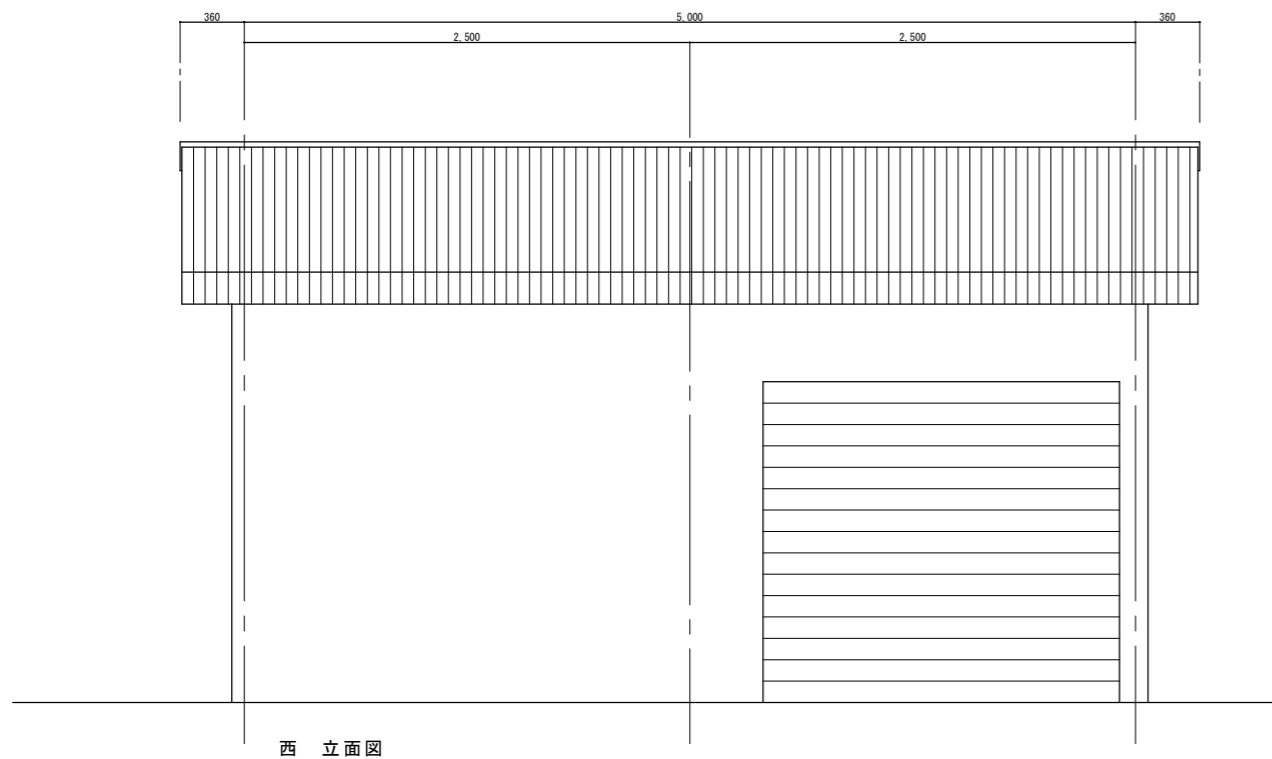
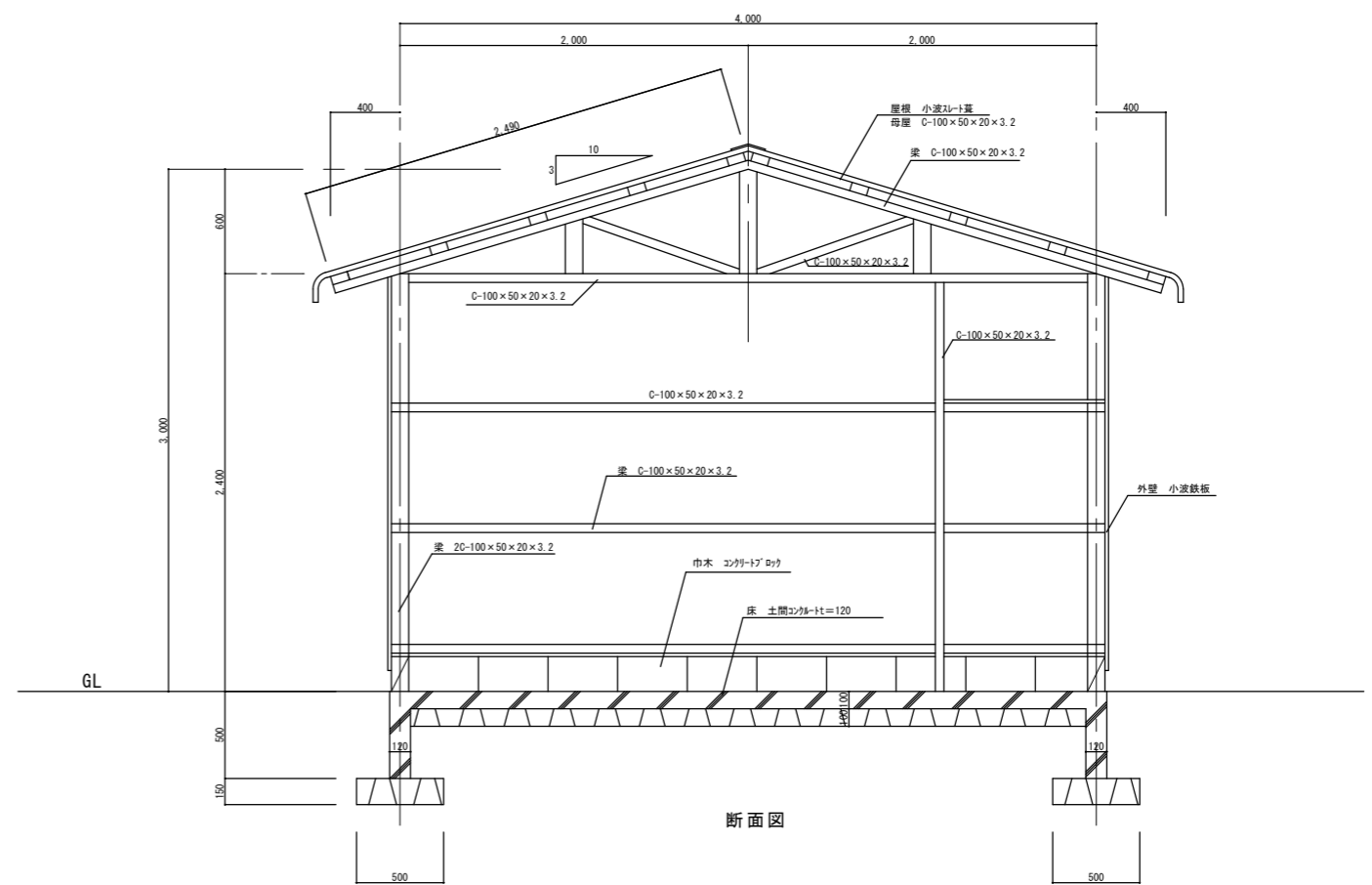
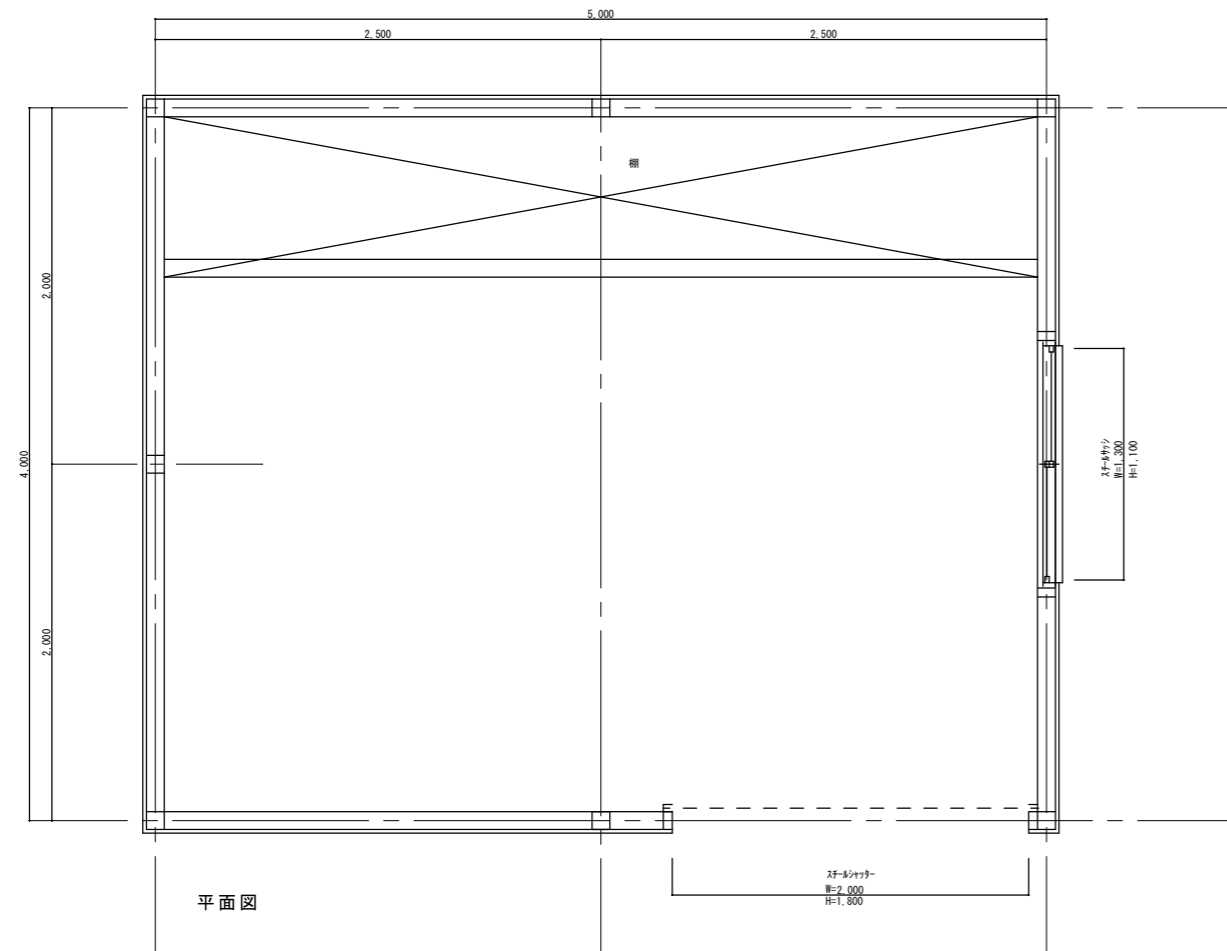
訂正	

Kazu 一級建築士事務所
 前田和成 (一級建築士登録番号 第158503号)

承諾	設計	担当	製図	縮尺	1:30
			前田	製作日	H24.1.30

工事名称	平成24年度町有施設解体工事
図面名称	(給食棟) 床伏図 天井伏図

図面番号
 14

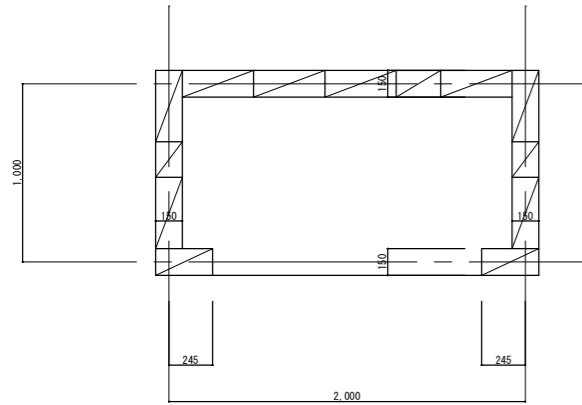


訂正	

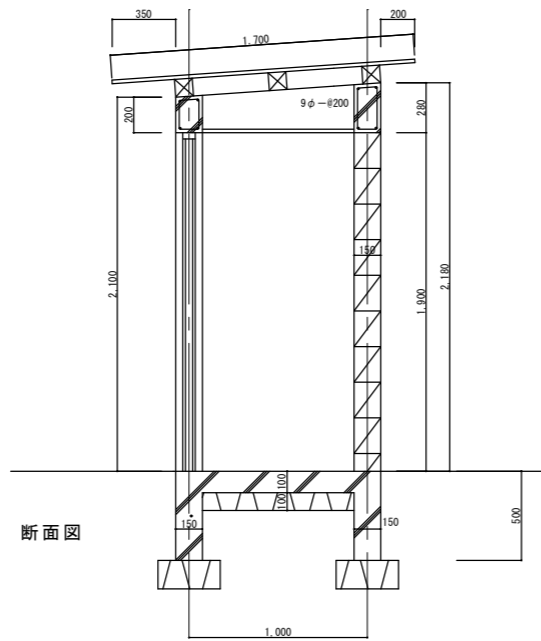
Kazu 一級建築士事務所
前田和成 (一級建築士登録番号 第158503号)

承諾	設計	担当	製図	縮尺	工事名称	図面番号
			前田	1:30	平成24年度町有施設解体工事	16
				製作日 H24.1.30	図面名称 (器具庫) 平面 立面 断面図	

プロパン庫

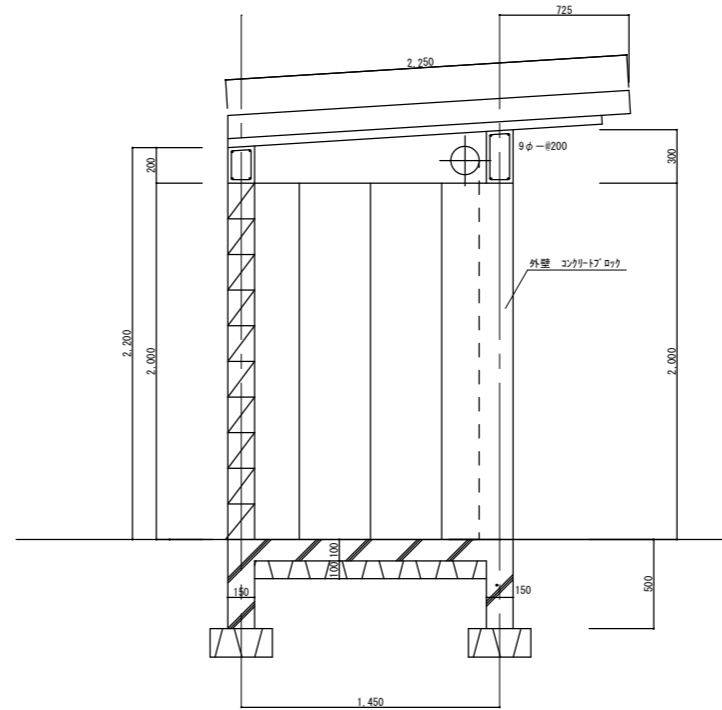


床伏図

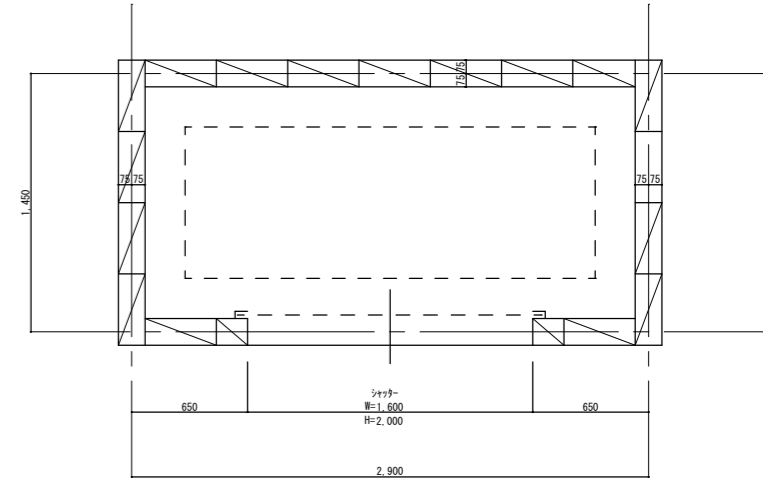


断面図

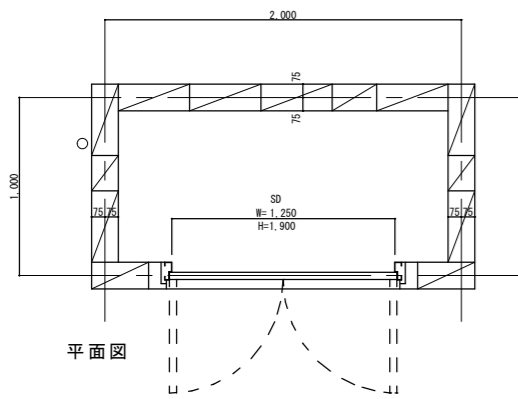
倉庫



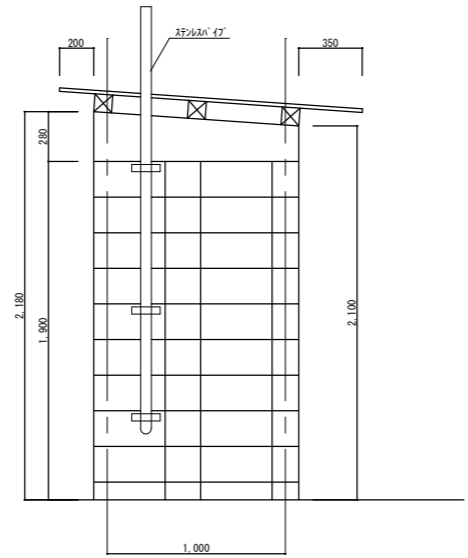
断面図



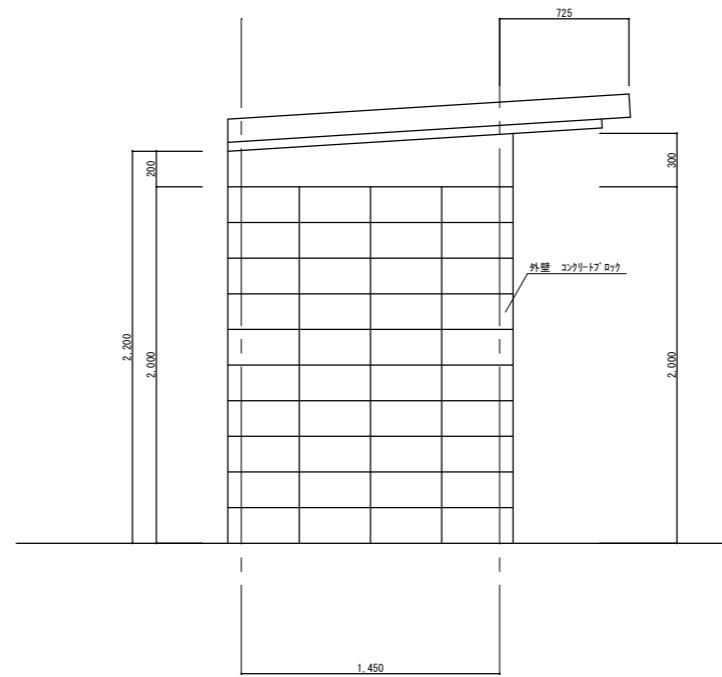
平面図



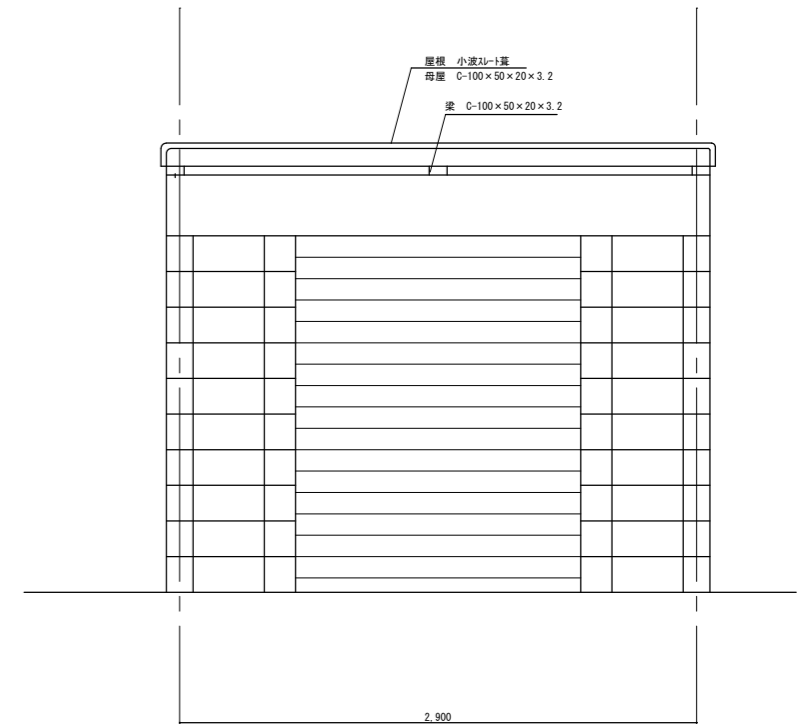
平面図



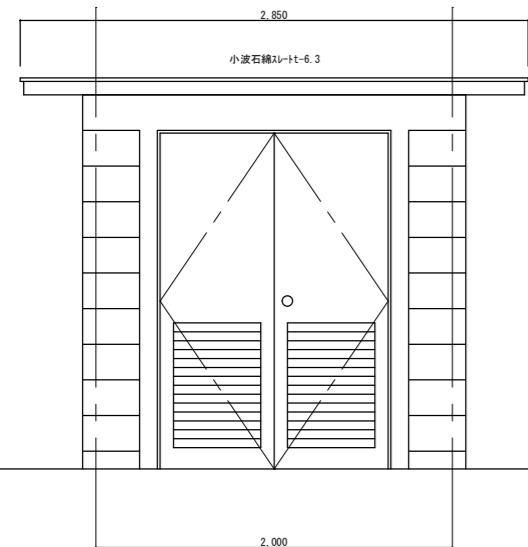
北立面図



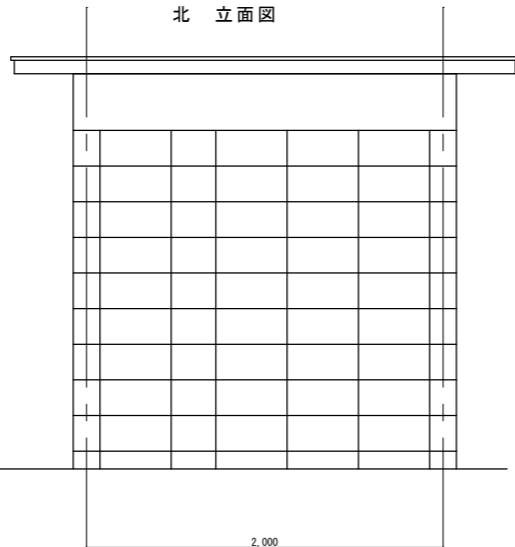
西立面図



南立面図



西立面図



東立面図

訂正

Kazu 一級建築士事務所
前田和成 (一級建築士登録番号 第158503号)

承諾 設計 担当 製図
前田

縮尺 1:30
製作日 H24.1.30

工事名称 平成24年度町有施設解体工事
図面名称 (プロパン庫・倉庫) 平面 立面 断面図

図面番号

17